

昭和三十三年九月九日招集

館市議令第三回定例会議錄

昭和三十三年館山市議会才三回定例会々議録
一昭和三十三年九月九日午前十時館山市議会才三回定
例会を館山市役所分館会議室に招集

出席議員数(三二名)

一 番	石井 潔	二 番	望月 暉作
三 番	小沢 太助	四 番	脇田 順一
五 番	福岡 保徳	七 番	遠山 ヨネ子
八 番	田村 喜兵衛	九 番	後藤 謙一
一〇 番	山口 房治	一一 番	佐久間 為次郎
一二 番	小沢 光義	一四 番	大野 清五郎
一五 番	磯 辺 周雄	一六 番	鈴木 孝
一七 番	小沢 恵太郎	一八 番	鈴木 市蔵
一九 番	小谷 無達	二〇 番	田中 禄郎
二一 番	吉田 勇治郎	二二 番	金木 久一

二三番 飯田義男 二四番 秋山万次

二五番 萩生田七郎 二六番 田中忠藏

二七番 黒川佐太郎 二九番 松本藤太郎

三〇番 安西政治 三一番 山口康

三二番 嶋貫壯作 三三番 可古木芳藏

三四番 高橋文治 三五番 嶋田繁

一次席議員數(二名)

六番 山本昇 一三番 中村良五

一次才二百二十一条による出席説明員

市長 田村利男

助役 小出武男

総務課長 兎戸貴

保険課長 唐沢貞太郎

商工水産課長 羽山房雄

收入役代理

眞田森吉

送管書記長

渡辺 茂

建設課長

新井重助

農産統計課長

吉田耕一

秘書課長

山谷潤昶

福祉事務所長

長谷川 広治

厚生課長

神作啓次郎

戸籍課長

高木哲三

税務才一課長

山口 実

税務才二課長

伊藤幸太郎

診療所事務長

池田亮山

教 育 長

工藤和平

教養庶務課長

鵜沢寛寛

監査委員

関 武夫

一本議会の事務局長、書記および職員

事務局長 高梨清一

書記 太田博雄

職員 山口晴之

昭和三十三年才三回館山市議会定例会議事日程

昭和三十三年九月九日午前十時開議

報告才一 号 昭和三十三年度七月例月検査報告

才一 号 昭和三十三年度八月例月検査報告

日程才一 才一 号 臨査報告(高校、青年学級、幼稚園、保育園)

才一 号 (中、小学校)

才一 号 (公益債屋)

報告才一 六号 専天処分報告(職員協同設置)

才一 七号 (都市計画工事請負)

日程才三 陳情書

日程才四 議案才四七号 食器洗淨機購入について

日程才五 " 才四八号 診断用レントゲン装置購入について

日程才六 " 才四九号 消防団用消防三輪自動車購入について

日程才七 " 才五〇号 昭和三十三年度事業分担金の賦課総額について

日程才八 " 才五一号 館山市市税条例の一部を改正するについて

日程才九 " 才五二号 館山市職員給与条例の一部を改正するについて

" 才五三号 館山市学校職員給与条例の一部を改正するについて

日程才一〇 " 才五四号 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

するについて

日程才一一 " 才五五号 館山市中心企業資金の融資に関する条

例制定について

日程才一二 " 才五六号 教育委員会委員の任命について

才五七号 昭和三十三年度館山市特別会計公益償屋文

入支出追加更正予算

議事才五八号

昭和三十三年^{館山市}度特別会計国民健康保険文

入文追加更正予算

才五九号

昭和三十三年^{館山市}度館山市文入文追加更正予算

日程才四 学校職員勤務評定について

一本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

議長(石井 潔君) 本日の出席議員数三十一名 これより才三回市

議会定例会を開会いたします。

議長(石井 潔君) 本定例会の議案説明の爲田村市長、小出助

役、兒戸課長、唐沢課長、羽山課長、眞田收入役代理

渡辺送管書記長、新井課長、吉田課長、山谷課長、

長谷川所長、神作課長、高木課長、山口課長、伊藤

課長、池田診療所事務長、工藤教育長、鶴沢課長

、監査委員以上の出席を、録めましたので、報告

をいたします。

議長(石井 潔君) まず会議録署名員の決定を行います。
お諮りいたします。

従来例に従いまして議長指名の推薦により決定いたしますに異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君) 異議なしと認めます。

よって四番議員 脇田 順一君 三十三番議員 可世 木芳
蔵君以上のご両君に決定いたしますにござい
せんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君) 異議なしと認めます。

よって沃します。

議長(石井 潔君) ついで会期の決定を行います。

(書記朗読)

報告オ一一号 昭和三十三年度七月例月検査報告

オ一二号 昭和三十三年度八月例月検査報告

オ一三号 監査報告(高校、青年学級、幼稚園、保育園)

オ一四号 (中、小学校)

オ一五号 (公益質屋)

(関武史君登壇)

監査委員(関武史君)報告オ一二号から一五号までにつぎ
して御説明を申し上げます。

十一号の七月例月検査報告でございますが七月十三日
が日曜日でございますので七月の十四日に実施
いたしました。

一般会計におきまして市税が六百六十二万入って

おります。

この内訳は市民税が約七十万円 固定資産税が三百四十万円 タバコ消費税の五月分として百九十万八千九百七十円 軽自動車税として四十一万円の余等がおもなものでございます。

市税の収入未済額が一億四百万円の余計上なれておりますが納期のこないものが六千八百五十万円ほどありますので差引きまゝで正味滞納額が約三千五百七十万円でございます。

つぎに税外収入におきまして三千七百五十八万円余入っておりますがこの内大きなものは地方交付税の一千四百八十四万五千円 それから前年度の繰越金として一千八百三十二万六千三百十四円が入っております。

支出におきまして三千九百万円出ておりますが市庁舎の建設資金として千八百万円積立てられております。その他土木失業費に坂形港の分として五十万円、高崎港の分として四十万円、函港に出してございます。

収入支出差引を以て二千二百十六万一千八百三月の剰余金が出ております。

なおこの月二十万圓を公益債屋に流用してございます。

特別会計に移りまして公益債屋会計は収入支出差引を以て三万八千八百五十六円不足となっております。一般会計より二十万圓流用して支出にあてられております。

貸付高の残高が二百四十万九千四百七十五円ありまゝ、船形貸屋が百六十万四千二百円、富田崎貸屋が八十万五千四百五十五円でございまして。

なお楠外におきまして支払未済額三千二百四十円と記録されておりますがこれは月末に金券を会計で切りまして支払済みだ、これをおとしいたい為、この金額が残り、たゞでございします。

国民健康保険でございしますが事業勘定の其の他の収入の楠に検査後の三百四十九万一千円余入っておりまゝ。これは国庫からの補助金が大體でございまして給付費補助金として二百四十万八千円、事務費補助金として七十五万六千

月入、たのでございます。

報告第十一号につきまして以上をもつて説明を終わります。

つぎに第十一号に移ります。

八月十三日に議員四名の方の立合いのもとに昭和三十三年度才一回臨時出納検査を実施いたしました。

検査の結果いずれも正確に記帳処理されてゐることを認めました。

まず一般会計で市税において一千百七十万円余入つております。市民税が百十二万、固定資産税が七百十七万円、タバコ消費税が百六十三万六千四百四十円、これは六月分でございます。電気ガス税が百三十九万円、都市計画税が三

十五万円 軽自動車税が九万二千円等がおもなものでございます。

税外支入として五百三十万円余入っております。その内六月千葉で開かれた競輪の収入が三十八万円入っております。

市税の収入未済額が九千五百五十万円ございます。納期のないものが四千九百二十万円でございます。まして差引き正味滞納額が四千六百二十万円でございます。

支出につきましては特に甲上げる大きな額もでっておりません。大体が普救の軽少支出でございます。

収入支出差引まして二千三百万円余の黒字となっております。この内国民健康保険会計一五十

万円公益債屋会計へ二十万円一時流用してお
うれます。

市税の収入割合を見ますと七月末におきま
して現年度分が六三、五％繰越分が三九％合計
して四五、二％でございます。

昨年度が四〇、二％でございます。

特別会計に移りまして債屋会計でございます。
貸付高の現在高が二百四十二万円で、その内
船形が百五十九万九千二百円、高崎が八十三万四
千三百五十五円でございます。

国民健康保険は収入支出差引をしまして百九十
万円余の現金があります。この上一般会計か
らなお五〇万円流用してあるのでございます。
調査した結果月末に給付費の支払を行うの

に金が足りません為に五〇万円を流用して二百三十万円余を支払、たのでございます。その金務の月末までに金庫におろしません為に月末の残高は二百四十三万円ばかり金がある事になつておりますがこれは月始め早々支払いが出来ております。

以上でオー・エヌの説明を終わります。

つぎにオー・エヌでございますが毎年実施しております学校幼稚園保育園の授業料の徴収状況ならびに備品の保管状況を見ました。いずれも年を追うてよく整備されておるものがございます。徴収した授業料とか保育料は速に市金庫に納付していただくように願ひしてございますが大体においてよく出来てまい

りました。又、鑑山高等学校においてなお一段と留置してほしい点がございますのでお願ひしておりました。現在に於ては良くしております。

徴収料につきまゝでは各学校や幼稚園、保育園に出納員の事を前年度指摘したのであります。それも実施しまして出納員の任命をいたしました。ただ出納員を任命したわけでありましてその事務取扱についての教育費とかいうものがまだ行われておりませんのでこれを本年度は実施するようにお願ひしておりました。

それから、備品の保管状況であります。市教育委員会、市の福祉事務所等の指導に

よりまして前年度と比較すると非常によく整備されている事が認められました。台帳の記載方法につきましてなお一歩の研究を願いたい矣がありましたので指摘しお願いをしておきました。例えば備品の分類です。が学校保育園幼稚園によりましてははな／＼大きく分けてこの学校だけで管理するということでは台帳の書換だけで済ますのもありますのでこれは学期ごとに細かく分類して書くようお願いいたします。

備品の廃棄の手続までございますが一切手続をバというれておりませんので今後はその書類を統一して後になっても廃棄経路がわか

るように残しておいてもういたいことをお
願ひしておきました。

以上でオミ号の報告を終ります。

つぎにオ一四号ですが今年度始めて実施いた
しました監査ですが中学校の備品保管状況
と経費の整理状況をみました。まず三十二年
度の経費の整理状況でございますがこの報
告にありましたように資金配当を各学校
に令達する場合委員会におきまして毎四半
期になるべく速く行うようにして学校側
において予算を執行する上に最も効果的に
出来るようにしていたと思います。費目
次に予算の流用についてでございます。費目
の流用は認められておるのですが無制限に

流用されるという^{考え}は私共も好まないのです。

予算を編成する場合、その不^{必要}を期を定めて市会の承認を得て定まるのであります。かうどこまでも予算を尊重して執行する立前びありたいと思ひます。特に備品費を他に流用している傾向が多いようでこの点には各学校にそういうことのないように十分気をつけていたゞくようにいたしました。

次に購入に対する決裁ですが本来購入伺いは市教育委員会を出してこれを行うのが立前ですが規定の額二万円以内は委員会は各学校長へその権限を委員一ておるのでございます。従つて二万円以下のものを買う場合、学校長の購入決済を経てかう買うべきものであります。

すば一部にこれを行、ていなので言葉でや
、てある学校がございますので今後は購入伺
薄によ、て正確に行うようにお願いしてま
いりました。

つぎに経費の整理簿でございしますが大体記載
方法は良くひきておりました。ただ帳簿のこ
とであります。月計や累計を必ず書いてい
ただうたいと甲しておりました。又鉛筆で
書いて訂正の場合に削削、てなおります。あ
まりたので注意しております。

甲学校の備品の保管状況であります。昨
年栗市教育委員会が各学校を指導して
備品台帳様式を統一して記載方法などに
ついて講習会まで周いて指導されたのでその

成果が今日の査査によって日さみることになるのであります。

なお台帳記載にあたりまして今後なお研究すべき点もございますのでこれらの点についてはお願いしてまいりました。

備品の分類をもっと細かく書く記載内容も、と細かく書くことをお願いしてまいりました。圖書の管理につきましては実際問題としてなか／＼容易な事ではありませんが今後なお一層注意を払って散逸しないよう努めるようお願いしてまいりました。

備品の廃棄処分についての手続きにつきましても記録いたすようお願いしたのでございます。

以上で一四号の報告を終ります。

オ一五号の説明をいたします。

七月三十日に市の公益質屋を監査いたしました。
オ四の貸付金の固定化についてでございますがい
わゆるこげつまでございます。

公益質屋の性質上民間と違って流矢期限が
まゐりましてもなるべく流矢者の意向を尊
重—まゝて流矢処分しないでおるのでござ
います。年々こげつまが累積して約六〇万
円になつたのでございます。

貸付総高の約七〇％に達しましてこのまゝに
しておきますと質屋運営上非常な支障を
きたすうれいがございましてこれらの整理
方法について真剣に考察されるようにおわがい

してあつたのですが、そればかりや、みうわて何日分
かさまとめて入れてあつたようではございませう
で最初のように、かりおそくも翌日中には払
込むようにお願いしておきました。

貸付金の前渡でございませうが五万円とか十万円
とか船形富崎の出納員に渡してあるようでは
すがこれも便宜でやつておりまして、たが出まら
ない程度にとどめてあまり出先の出納
員の手許に送んだ金をおかないようには願ひ
しておきました。この企業はなんといつても
一般企業と違ひまして一つの企業でたえず
動いておりますので主管課におきましてはも
っと良く研鑽をつまねまして本事業の運
営について遺漏のないようにはいたしたる

たいとお願いいたらまいた。

賃屋事業はあくまで福祉事業の一つで公益
を第一に目的とするわけですから、できれば独立
採算にするよう当局はその線に沿って本
施設をもっと普及宣伝して新しい有益
な層を開拓して賃付高を増し同時に流賃
物のつぎつぎを売却処分等により資金の回
転率を高め利子収入を計りこの事業の経
営健全の為に努力していきたいんだけれど、お願
いしました。

以上で第一五号の説明を終わります。

○議長(石井潔君) 賃屋疑等ごいませんか。

○二五番(萩生田七郎君) たいいまの公益賃屋の問題
ですけれども、ちろん充足当時社会政策として……

発音不明瞭につき聴取不能……最後の表の
損益計画書の内容をみると報告書に於て
約百万弱とありすぎたが、いまだ報告のあ
りすぎた今年度の支入支出の差五十九万九
千百六十三月の赤字を生じておりますが
事業経営の観点からみますれば損益計画
書に於て五十一万にばかりの赤字を生じて
いる。こうして公の機関におきまして帳
面上の数字、実際の経営内容の観点から次
次に検討したということは、実質的の形態実
際の経営検討においては五十万月の赤字を
生じている。結局百万月近いんですが、こう
したことから公の機関に於て表面には、さ
り見えたことばい、か悪いが、もう一つは先

月からの二月間の報告をみますと七月は十一
 万八月は十四万で公益質屋の赤字を生じている……
 二月間に三十万になる……（発音不明疎につる聴
 取不能）……。そうして内容のぶとく公の公共
 団体に於て百万円という大まかい数字を公表す
 ることばいいか悪いか、どういうふうに公表し
 たらいいか、そのことについて主管課長の
 意見を拝聴したい。

。監査委員（岡武天君）公益質屋事業というものは
 特別会計で一つの事業として行われてある
 のでこれを事業経営の観点から観察して
 みることは必要なことだと思います。そして
 こういふ公開表を作つて事業の実質的
 なものを出していただく必要があります。一方実際の

会計の方法はいかに収入がい、か支出がい、か
差引をいくら余るかも知れないとだけさだ
せばいいことになつております。従つて支
入の中には今年度でございませうけれどもか
りに借りがあつても帳簿上収入になります。
これで支出が支払われておれば黒字だとい
うことに表面はひる。ですから基本だ
けで考えることは私差支えないことであ
る事業として経営を切りつめてい、た方
がよいのではないかとよく考へてあり
ます。

○三五番(萩生田七郎君)よくわかりました。なるほど一般
貸付ということだけでなく一般会計から流用し
た場合に於ては当然予算貸付においては……

(発音不明瞭につき聴取不能)……要するに結論はついてもただけでなく表面的解決が必要だ。そういう場合に入ぎ出の……(発音不明瞭につき聴取不能)……いずれにしても趣旨は了承していただく。でよろなうば独立採算によって行いますようにお願いいたします。

・三〇番(高橋文治君)三十三年度の国民健康保険につきまして保険課長にお尋ねいたします。

七月末現在の報告によりますとまだ繰越滞納が七百九万四千九百五十二円ございまして三十三年度の滞納につきましては保険課の非常な努力によりまして九〇%の成績を上げたのですがまだ七百万からの^滞納があるがこの内にはおそらく欠損処分状況が不可能で欠損

処分をしなければならぬものがあると考え
られます。すなわち、限度があると思ひますが、お尋
ねします。もしあるとすれば、早く欠損処分
をして、まわなければ、今後納税政策に非
常な影響を及ぼすものであります。この
点、保険課長にお尋ねします。

○保険課長（唐沢貞太郎君）お答え申し上げます。

現在過年度分としての滞納額は八月末で
三十三年度の滞納以前の滞納といつて、ま
して七百三十六万円でございます。その内欠損処分
にしなければならぬ額というのは八月末現
在で現在でございます。それは三十三年度の
年度末に行きますと、欠損処分をすべき額
が出てくるのでございますが、八月末現在で

は又損処分すべき類というのではありません。
(「了承」と呼ぶ者あり)

議長(石井潔君)他にこの質疑ございませんか。
この質疑なければ次に移ります。

議長(石井潔君)ついで日程才二報告才一六号才一七号を一括上程いたします。

(書 記 朗 読)

報告才一六号専決処分報告(職員協同設置)

、才一七号

”

(都市計画工事請負)

。税務才一課長(山口実君)去る七月三日市の協議会でお話し合いをしまして対策を——していただいておりますが軽自動車への課税に当りまして課税の客体を正確にかつ又迅速に機能と——する為結果

の陸運事務所内に軽自動車税の事務を設ける
る為には職員を設置しようとするものをお願
いいたします。以上でございます。

建設課長(新井重助君)報告十七号についてご説明い
いたします。

本件は去る七月一七日の市会の協議会の席上で
一応この轉沃処分を認めることをおわがいで
了了承を受けたいでございます。

ごまんの通り都市計画道路の毎半期工事
をしてある道路でございます。今年度は水産
高等学校の下をやっております。本工事は
矢業者を千六百五十六名使うことになつてあり
ますので矢業者を使用する関係上工事を急
ぐということとで議会の承認を得るに入れと

致しませんでした。入札は七月十六日午前十時市長
 室で行いまして指名業者 館山工業株式会社
 安藤建設株式会社 入道工務店 山崎工務店
 エ建設株式会社 の計五社を指名入札しました。
 入札の結果安藤建設株式会社が三百九十二万
 八千円で落札いたしました。

今回これも専断処分をいたしましたので承認を求め
 る次第です。先ほど申しました市会の月日
 が六月十九日のあやまりで訂正いたします。

議長(石井 潔君)本報告に対してご質疑等ござい
 ますか。

本報告はご承認と認めてよろしいございま
 すか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君)報告案件本二件はご承認と認めます。

議長(石井 潔君)つづいて日程オ三陳情書を上程いたします。

(書記朗読)

陳情書

議長(萩生田七郎君)紹介議員大野佐久間松本議員
のご承認を得ました。

本件に対してまゝてご説明申し上げたいと思ひます。
実は(……発音不明瞭につき聴取不能)……
場所は上獲賀地は館山港岩壁からかい高素サ郎
さんの前を通り館山市の学校の入口の県道
大道りに通ずる幅サノートル長マ二百六十メー

トルの沿線でございます。お張所の内容により
 知ってあるのでございますがなお証言いた
 しますれば館山あたりには上陸される物
 資は近ごろ非常に多くなっている。そのこと
 ごとくがトラック三輪車で運搬されてある
 のであります。路面の損傷が深くなる同時
 に館山の学校の通学^{通学}道路となりします。
 一かも近き将来あすこに南通されるであろ
 う船形から館山、館山航空隊の先の海岸道
 路とあすこの道が直結される要路であるの
 であります。従いまゝてこの舗装は重要
 と私は思うのでございます。特に^{舟橋}廻着で館
 山棧橋四角から旧館山造船所の前を通りま
 して館山港に至る約四百五十メートルの沿道

の舗装化というものを果実関係者のご配慮によりまゝしてこの舗装も着々具体化してゐる現況でございましてこの案件が舗装化され、ば鎌山鴻の要といえますまする四方の繁昌、舗装化されて市発展の大きな要素となるか、ように解しますのびなにとぞご支持ご賛道の意を得て当局の配慮によりまして採択下さることを特にお願ひ申し上げてよろしくお願ひいたします。

二四番(大野清五郎君)本陳情書につきましてはいま二五番議員の森生田氏から良く説明があります。一通り内容は省署でせていたのですが、賢明なる同氏の皆さんのご検討によりまして採択あらんことを切におねがいいたします。

○二番(佐久間為次郎君)私も紹介議員といたしまして先ほど二五番議員からご説明申上げましてご趣旨はおわりのこと、存じますのでこの機会にすみやかに採択あらんことを特にお願ひ申上げます。

○三番(嶋貫壮作君)これを採択した後どうなりますか。その点、まいとお伺ひします。

○助役(小出武男君)陳情書採択後の公務の処置というふうに考えますがこの点につきましてはもちろん議会の意思を尊重いたしまして十分に検討して結論を得たいと考えます。

○三番(嶋貫壮作君)検討得たいと存じますはいいが館山市だけでは処理できない問題だと思ふ。私は考える。従つて是(陳情する)ということに

なるのであるかその実を明らかにしてあかないところ、に多数傍聴者もあいひになりますので誤解を生じてもいいけませんのでお伺いするわけです。

。市長（田村利男君）新井の四角から館山港までは県道で、道の舗装という問題になりますと県の関係で行われますのでご採択され市長の方へ回送されてきまうた時には議会の意志を尊重し、まうて幸い地えから県会議員に出てありますのでご足労願って県へ早い時期に舗装化するよう県ならいに県議会に働きかけ、まうて提案してまうるだけ早い機会に実現しますように勤める所存でございます。又館山の学校前からうつろあたりのみ高日水に

至る舗装問題はこれは市道でございますのでこの市道といえども果から材料補助をとる方法がありまして単独で市自体でやるよりも資材を果からちょうだいしてやるという賢明な方法がありますのでそちらの方も一段と働ましてかけまして資材補助も獲得して両翼相まって早い機会に実現するように努力をする覚悟でございます。

。三三番(嶋貫北作君)はなぐ一言く甲上げてお恐れいりますがこの陳情書はすこぶるおそく、感がございます。館山船形両方を結ぶ道路が建設されまして鎌山港の方はついに土まじり、石のでございます。あすこそ舗装化しておかないでこ、ちのひき^上るのとまって

いるというが、ひとまは全くどうかしているところ
を考えておりますが、萩生田議員が言つたとおり
交通量が非常に増加してゐる。そういう現状
から一日も早く道路を舗装化することが必要
であると思ふのです。そこで私がおそきにす
ると申上げるのできわめてすみやかに期に
於てご処置あらんことをお願いいたします。この
陳情書曰を採択することに賛成する者です。

議長(石井 潔君) お諾りいたします。

本陳情書を採択することにご賛議ございませ
んか。

(「賛議なし」と呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君) ご賛議なしと認めます。

よつて本陳情書は採択されませんでした。

採択されました。本陳情書は、ただちに市長の手許へ送付いたします。

議長（石井 潔君）つづいて日程才四議案才四七号を上程いたします。

（書 記 朗 読）

議案才四七号 食器洗浄機購入について
。秋委庶務課長（鷗沢貫寛君）議案才四七号につきましてご説明いたします。

この予算は六月十九日の定例会に於て議決されておるのでございますが、この品物の購入につきまして検討した結果、果内^給の食器具の大部分は朝日厨機と日本調理株式会社と入るが、会社は二つ入っており、でございますが、学校側と相談し

てアサヒ厨機の方の機械を購入したいといふこと
に決定いたしましたので議決をおねがい
いたします。

三五番(鳩田繁君)本案につきましては賛成しま
すがやはり給食は市内にもいくつか学校が
あると聞いてます。これらもよく検討して
下す、ておいく、うい、た線にて行く
方法に意を注いでいた。それをこゝで
おねがいいたします。

議長(石井潔君)他にご質疑ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井潔君)ご異議なしと認めます。

よって本案は原案通り決定いたしました。

議長(石井潔君)つづいて日程才五議案才四八号を上程いたします。

(書 記 朗 読)

議案才四八号 診断用レントゲン装置購入について
保健課長(唐沢貞太郎君)議案才四八号についてご説明
申上げます。

現在豊房診療所において使用しているレント
ゲン装置は昭和二十四年に豊房診療所創設当
時購入したものでございましてすでに九年を
、て四十MAのレントゲンで、て現在性能も
いちどろろく低下して又故障も続出、診断
に堪えない性能でございします。

当初予算に計上した通り九〇万円を計上し
てあります。この際三〇〇MAのレントゲンを

購入します。なお三ロロM Aを購入すること
については豊房診療所の方は厚生省の示—
てあるイ丙型診療所でございまして丙型診
療所の標準のレントゲンは三ロロM Aを標準
としておる次才でございます。

その三ロロM Aの標準レントゲンを購入いた
す頭につきましてにはレントゲンの販売会社で
ございます大なる販売会社は東芝販売会社と
それから日立製鉄 大体この二つが大なる社でござ
いまして当安房郡地内および千葉大等には
大体東芝レントゲンが入つておるような状態
でございますので日立、東芝を比較検討の上
東芝に決定いたしました。これを購入いたし
と本案を提出いたしました次才でございます。

議長(石井 潔君) 本案に対してご質疑等ございますか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君) ご異議なしと認めます。

よって本案は原案通り決定いたしました。

議長(石井 潔君) つづいて日程第六議案第四九号を上程いたします。

(書記朗読)

議案第四九号 消防団用消防三輪自動車購入について

総務課長(兎戸 貴君) 議案第四九号についてご説明を申し上げます。

この購入しようとする三輪消防自動車、船形

の一分団に配利するものでございます。現在
一分団にございます手ふーガソリンポンプは
七、五馬力のものですがこれが相当年数も至
過いたーまーて全く老朽化してあります。
今年の一月の初生武の時に使用不能という
申告をうけたものでございます。

解形地はござ承知の通り市内でも非常に民
家が密集してありまーてこの免全なポン
プを購入配直して火災の消防活動にいかん
のないようにしたいと考えておゝたのでご
ざいます。が新車購入につきまーては地え
の寄付もようやく熟してまいりまーて過般
姉ヶ崎と五井町の三輪^車を實際に調査研究い
たーたのでございます。がそれに基きまーて

地えにも十分相談を——して現在三輪車と——では
一級に属する百五馬力のもので高圧三段ター
ビンA2を購入したいと本案を提出——た次
才でございます。よろしくお願ひいたします。

○三番(鳩貴作君)この問題についてはオニ分団の
ポンプを買うのが議定決議も——てあります
ん——予算の更生も——てありさういう話合
いではないと思つております。偽計決議は
別に——ま——て当初予算を組んで下さるとい
う予定になつておると考へておりますが
予算の方をみますと予算にはないのでこの
機会において市当局と——て言明と——ておい
てとこ——う思います。

○総務課長(兎戸貴君)お答えいたします。

ニ分団のボンパ購入につままりては現在まだ見積書が全部そろわなかつた關係で予算の編成までにはまだあわずとりあえず予算処置としましては二百二十万を計上してございます。しかしこれはまだ会社の値段などもはつきりいたしませんので事件決議としては本会提出しません。今日の協議会で市長さんからお預りする予定でございます。

議長（石井 潔君）他に質疑ございせんか。

（異議なしと呼ぶ者あり）

議長（石井 潔君）ご質疑なしと認めます。

よって本案は本案通り決定いたしました。

議長(石井 潔君) 日程才七 議案才五〇号を上程いたします。

(書 記 朗 読)

議案才五〇号 昭和三十三年度事業分税金の賦課総額について

農産統計課長(吉田 耕一君) 議案才五〇号につきまして説明申し上げます。

三十三年度の農地の小田圃開発整備事業につきまして本年度は神戸地域を計画していただきます。従いまして布沼^{ヌル}道の九百九十八メートル、

佐野農道の六百九十八メートル、藤原用水路千二百八十九メートル、大神宮水路八百六十一メートルこの四ヶ所は農林省の認承をうけたわけでございます。従いまして四ヶ所の已の認承の事

業費が三百十五万三千円が認承になつたわけ
でございます。その内、国庫の補助金が四ヶ
所、七十九万九千円、内示がありまして、当
市といつても、分担金条例に基き、市の
補助金要項に基く所の市の負担分を七十
四万二千五百円を市費として支出して、合
計百五十四万一千五百円を国の補助、市の負担と
して、残額の百九十二万四千五百円を地元負担金と
して賦課しようというものでございます。
よろしくお願ひいたします。

議長(石井 潔君) 本案に対してご質疑等ございませ
んか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君) ご異議なしと認めます。

よ、て本案は原案通り決定いたしました。

議長(石井 潔君) つづいて日程才八議案才五一号を上程いたします。

税務才一課長(山口 実君) 議案才五一号についてご説明申し上げます。

去る二十八日国^会に於て成立した地方税法の一部改正法律によりいま、で課税してあつた木材取引税の課税標準率は国の方針により元来税率によりまして百分の四に賦課してあつたものが今回百分の二に減額されたのであります。つまりて本市は木材取引税なるものは石数単位で賦課したのでここに示してあります。

月 松三九 月 松二二 月 広葉樹三一 月 は各々

中実から示された標準額をそのまゝ、今回で承認を得ようとするものでございます。

○二五番(萩生田七郎君) 本案には異議ありませんが、参考までにあつて、一、まずが昨年度の予算と実際にとれまゝの額と、一、えねがいます。

○税務第一課長(山口実君) 昨年度の予算額でございますが六千五〇円に對しまして二万七千二百二十五円徴収いたしまして。

○二五番(萩生田七郎君) 了承しました。

一、この税金は、まあ、徴収困難な一、かも悪い言葉で申すすれば、ごまかされやすい。実際は、かくのごとく、少々の数字ではあります。すが、これが税として徴収している以上、あくまでも不正な徴収でない方針でいてほしい。

實際問題として私どもは脱税の標本のようになつておるようになつて考えますが課長さんの意見伺いたい。

。税務第一課長(山口 実君)現在のところ我々の方法として山本調査をして伐採が奥地で伐採されて第一の積材所山本にいます。山本調査と土地の現情報とがあるいは係員が時々見廻りまゝで発見次第荷主と当りて調査してゐる次第でございます。

。二五番(萩生田七郎君)当局の地方税の課税方針についてはいささか苦勞もあらうと思いますがあくまでも税金である、適正な処置努力してもらひまして本案に賛成いたします。

。議長(石井 潔君)他に質疑ございませんか。

(「異議なし」休憩と呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君)「異議なし」と認めます。

よって本案は原案通り決定いたしました。
しばらく休憩いたします。

十一時三十五分休憩

十一時五十五分開議

議長(石井 潔君)休憩前に引続いて会議を開きます。

ちやうと正午に五分前でございますので再び
休憩に入りまして一時まで休憩いたします。
その間中食をとるようお願いいたします。

十二時。分休憩

一時十分開議

議長(石井 潔君)出席議員数二十四名これより休憩
前に引続いて開議を開きます。

日程才九議案才五二号才五三号を一括上程いた
します。

(書 記 朗 読)

議案才五二号 館山市職員給与条例の一部を改正する
について

議案才五三号 館山市学校職員給与条例の一部を改
正するについて

秘書課長(山谷 潤和君)議案才五二号につぎまゝにて説
明申上げます。

本議案は館山市職員給与条例の一部を改正する
という条例であります。

いま、で本市の職員は通勤手当を支給して
おりませんで、たが先般六月の十日に千葉
県の本部々長から各市町村あてに一般職の
職員の給与に關する法律の一部改正につい
て通牒がありました。その通牒によります
本年四月十五日に法律オハ十七号によつて一
般職の職員の給与に關する法律を一部改正す
る法律が公布即日施行され本年四月一日にさ
かのぼつて適用されることになりこれにと
もない人事院と及び人事委員会則が訂正又
は改正され国家公務員の通勤手当の制度が
實施されることとなつたのであるが同法付

則において地方自治法第二百四条が改正され、
 現に当公務員についても通勤手当を支給すること
 ができるようになったので、国家公務員の
 通勤手当の制度について、通勤手当の制度が
 設けられることを期待し、参考までにお知らせ
 する。

次に、地方公務員に対する通勤手当の支給に
 必要な財源については、国家公務員の通勤手
 当に準ずるものとして、本年度地方財政計画に
 おいて処置されているので念のため。

以上のような通牒があり、また、本市と
 しても四月一日にさかのぼり、この通勤手当を
 支給したいと思ひ、給与条例の一部改正を提
 案した次第でございます。

条例の内容につきましては一オ一条オ三項中扶養手当の下に通勤手当を加える。この改正が通勤手当は全て条例で定めなければいけないと自治法で定められておりますので条例を訂正したいと思うのでございます。

オ八条通勤手当いま、でオ八条は給与条例が削除になっておりまして、でオ八条を改めて復活させ今度通勤手当という名称にするのでございます。

オ八条オ一項は通勤手当の支給対象になる職員を埋めたものです。オ一号は交通機関を利用している者、たゞ一峠道ニキロ未満徒歩で通勤している者はのぞく。オニ号は通勤の為自転車その他の交通用器^具（その他の交通

用夏とは自転車オートバイ等でございます。それらを利用することを条例とする。支給対象の職員を定めたものであります。

オニ項は支給の金額でございます。これは交通機関を利用している職員。これは一ヶ月の通勤に要する運賃の額に相当する額から、費用を控除した額を支給する。この一ヶ月の通勤に要する運賃等の額に相当する額。

その相当する額というのは例えば汽車でバスで定期券を利用している者一ヶ月分のバスを利用するものは費用に対して一ヶ月の交通費を支給するというのではありません。それに相当する額というのはいくヶ月分定期を買った場合それを三で割ってそれに対する

のを支出。それを一ヶ月の通勤に充当する額。この
いうふうな計算でございます。たゞ、その通
勤の運賃のうち百円を控除した額、その額が
六百円を越えた場合には六百円でもって打切
る。なお、三項の方は自転車通勤している
職員は百円を支給する。その二項の六百円と
三項の百円の額は、国家公務員に準じたもので
して、交通機関を利用する場合には六百円、自
転車を利用した場合は百円は税金の対象とな
らないので、以上のような額を支給するわけであ
ります。

四項は通勤方法の細かい部分に対しては規則
で定める。

以上簡単ですが説明を終わります。よろしくお

願います。

。教委庶務課長(鵜沢貫覚君)議案オ五三号を説明いたしますが、学校職員、高等学校、幼稚園の職員は市の一般職員と条例を別にしており、すので同じ通勤手当を支給するに当りまして、学校職員の給与条例も同様改正したいというものでございます。

。三五番(嶋田繁君)質問をいたしますが、オ一項で交通機関を利用している場合は二キロ以下でも支給することになるのですか。

。秘書課長(山谷潤昶君)二キロ以内の場合は交通機関を利用するまで、ない交通機関がたとえ二キロであっても徒歩で他に歩く所がある場合は支給いたします。

運賃が百円未満の場合は百円支給します。

○三王番(嶋田 繁君)「いこでも交通機関を利用しても二キロ以内は支給しない(ってようびございます)」と呼ぶ者あり」この文章をみると交通機関を利用する場合にはそれ以下でもというふうに取りませんですか。

○秘書課長(山谷潤穂君)「どうーても交通機関を利用しなければ通勤にいちどろーく困難な場合には二キロ未満であつても支給することになります。」

○二番(望月暉作君)「この案にはもちろん賛成です。ただ問題は二キロ未満であつても徒歩以外の自転車あるいは交通機関を利用する場合に支給すると現在徒歩で通つてゐる人がバ

スとか自転車を使つた場合にはそこにあてはまると思ひますか。

○秘書課長(山谷調和君)ニキロ未済の場合は特別にその人にニキロあるか確かめて支給することになつてあります。一か一徒歩可能な距離は支給しない。バスと汽車の二つある場合には職員がバスで通勤していればバス料金は汽車の場合は汽車の支給するのでござい
ます。

○ニ番(望月 暉作君)わかりました。

通勤手当につまましてはスタートから登成です。結構なことでは。

これに関連して長勤手当の方は正當に支給されておるかどうか。

秘書課長(山谷潤起君)現在館山市で職員に支給
していただきます長勤手当は長勤をやる場合には
課長の^承諾を得て長勤をやってあるのを原則と
してあります。それのうり日曜日だけは長勤を
やらないようにしてある。一かーやもう得な
い時には長勤をやることは仕方がない。こん
な建前ですが思うように出来ませんので現
在は課長のざりで長勤をする人に命令を下
してそのかわりにこの支給額は条例にあり
ますが職員組合と諾合いで三時間以上やっ
た場合には一時間三十円その程度で支給して
あります。条例通り支給いたしますと一時間
きり七〇円になりますすが現在にはだいま申
上げまーた通り三〇円当りで支給していま

す。

・二八番(鈴木市蔵君)秘書課長に伺いますがニキロ三
 キロといつても明治の生れの人ではわからな
 いあなたが例えて市役所から八幡に住んでい
 る人はと具体的に説明をしてもういたい。

・秘書課長(山谷潤昶君)ニキロとは半里でございます。
 市役所を基準にしまして那古の方へいそま
 すれば八幡神社、館山の方へいそましては
 館山神社あたりがニキロでございます。

豊房の方へまいりましては旧青柳から豊
 房に出る所にお寺がございます。このお寺
 がニキロ位でございます。ーかー實際の
 支給にあたりましてはこれがニキロから十メ
 ートル切れるか十メートル越えるかと疑問の

ものに対しては嚴重に計りたいと思います。
一八番（鈴木市蔵君）あなたの説明で良くわかり
ました。二キロ以上の場合は六〇〇円ですか
今説明をうけたんですがそれ以上は出さな
いのですかそれとも、はい。二キロ以内が百円
とか二キロ以上が二百円とか三百円とかいう
のが、この案をうとつくわーく。

・秘書課長（山谷潤一郎君）自転車で通勤している場合
には二キロ以上の者にだけ百円支給するの
でございます。（「百円ね」と呼ぶ者あり）

交通機関例えはバスなど利用している場合
にはその料金から百円を引いた残りを支給
する。たゞし最高は六百円です。例えは富
崎のオハう通勤している職員一三〇円内で

すがこれを六百円で留める。又西岬の川名の方面からきている職員は一三〇円ですがこれも六百円で留める。近くからきて三百円しかかからない人は百円引いて二百円支給する。

三四番(高橋文治君)交通機関を利用する際に例えは国鉄の交通機関を利用する場合と会社至営のバスを利用する場合に料金は違ひます。すべその場合は原則として条件の低い方が實際は会社至営の交通機関を利用しておつても原則として料金の安い方が實際の交通機関を使用している方を支給するか。秘書課長(山谷潤和君)国鉄とバスと両方利用でゐるという場合は原則として安い方の料金を

を支給する。ただ一岡鉄の駅まで行く拒融
と職員の家、玄関から駅に行く拒融と、す
の館山駅へ降りてから館山市役所の職員の
出勤簿においてある場所とその両方の拒融
をたいて二キロ以上の場合にはバスの方を利
用することになっております。

○二番(吉田勇治郎君)お尋ねしますがいま秘書
課長の説明のあったとおり西岬からいえば
一三〇〇坪の所もある。あるいは六百坪に
みえない所もある。この六百坪の最高が定
められたというこの意義と現在各町村が行
政の簡素を計る為に地方団体の合併を促
すという、館山も旧六ヶ村を合併して非常
に職員も遠方にまたがってゐる。頭びいで

六百円と定められたことに対して合併市町村にも
当然頭びに六百円と定まっておれば一応我
々も考へるならば実情にそくして自治庁
ありが指導要項として町村合併を進め
てこの六百円の頭うちを定めたいという趣旨と
職員の方布が遠くにまたがってあるという懸
念に対しては、と相反するように解釈する
んですがこの長秘書課長さんとう解釈して今
後どういふような方法で進めて考えていくか。

。秘書課長（山本潤和君）この六百円という理定は

本来は定期券とか通勤する為の定期券の現物
給与が原則であるそれを便宜上定期券を買
戻すことを確認して支給する。現物給与の額
が六百円までは免税とする。その為に六百円

という数字が決定したわけでございます。
これは自治庁の方からきて説明してくれただ
でございます。それを合併した為に通勤拒
離が遠くなると遠くなると、それから市の方で
はこれに対する百円でも二百円でも増して
支給したりどうかと考えるだろうけれども
百円増す又は二百円増した為に所得税が
かゝることになる。所得税はご承知のよう
に税金課税にあるから百円二百円を親心で
支給した場合に税金がなお百五十円二百五
十円三百円と支給した額よりも多くなると
れる。そこでこれは親心はやはり出さない
方がかえって職員の為になるという話でござ
います。

○三番(吉田勇治郎君) 所得税は六百円まではいけないう言明——ているわけですね。この数々の目的で……。それはわかりました。——か——応所得税をかけるにしても色々な状態がある。もらっても良い状態の人もある。又この六百円をきめるということは一応地位にでもよってきめているんじゃないか。頭ごしらえ六百円ということに対してはただ現物給与と基準にしてきめたという考えの説明がありまして、たが一応ある程度までよいと……。現在職員への分付状態はこれ以上あつたのでは一応常識外だという考えも出てくるんじゃないですか。私なりに解釈するところというふうに解釈するがゆえにこの統廃合を奨励すること

とにいてもう少一ここは改革する余地があるんじゃないかろうか。そう思うんですがいかなるものでしょうか。それに対してこんどどういうふうな考え方をもち、ておられるかということは例えば西岬に勤めておる人は西岬の役場に勤めておる人は必要ない。その範囲以内にあるいは十キロ以上のところを通わなくてよい、又は各町村神戸にいても富崎にいてもそういう例があると甲一ま一た場合旧文ヶ村の合併を吸収しているんですがその点に於いて頭ごりに現れたということは当局のその親心と職員給与の点から現れたというだけの解釈では私ないと思うのですがその点もう一度お伺いして出来れば今後なんら

かの形で解除していく意志があるかないか。

秘書課長(山谷潤親君)自治庁の事務職員員の説明が六百円までは免税であるからという説明であります。ただ通勤者が多くなるからというのを考えてみますとなお出張所とかいうものも多くとらなくちゃいけないということであつてかえつて今出張所はいさという声が出ているとときに逆になる恐れがありますのでこれは現在免税というだけを考えて提出したことを思います。

四番(脇田順一君)このまゝ賛成いたします。

一か一参考になりますか、これを実施して年間どの位の額になりますか。

秘書課長(山谷潤親君)現在通勤している職員に

通勤手当の対象となる職員が三百六十六名お
るのです。その内通勤手当を支給される職員
は五割内の百九十六名が支給されることにな
ります。その合~~計~~は年間五十八万七千円にな
ります。通勤手当を支給される職員一人当
りの手当は二百五十円になります。なお先
ほど県の総務部長の通牒によりますと今
年この財源につきまゝでは今年度地方財政
計画において措置されている　　こういう通
牒であります。ところがその後地方交付税の基準
になる資料を調べてみますと、ところの職員
一人当り一六〇円年間千九百二〇円基本にな
って計算されておりますので、それがこの
まゝくるのか、それ以下以上になるかは交付税の

関係上さまざまな固定計数がありますのではつきりした事は甲上げられますせんが基本になる一人当り千九百二十円を三六六名で割りますと年間六十一万二千七百二十円になります。現在館山市のように交付税をもらってある市においてはおそらく年間五十八万七千円の通勤手当を支給しても一般財源には影響はないんじゃないかと考えております。

(了解「異議なし」と呼ぶ者あり)

三四番(高橋文右衛門)先ほどお尋ねしました丸山町の境いから通勤する職員は九重の駅まで会社至営のバスを利用して園鉄に乗り変えるのと会社至営の日東バスを館山まで乗った場合ど、ちをとるか

。秘書課長(山谷潤和君)交通機関二つを利用した場合、バスの方を利用するものとみなして(「了解」と呼ぶ者あり)……たゞ、料金の安い方の汽車を利用します。職員が勝手に高い方を利用した場合、それを支給しないで安い方を支給する。

二八番(鈴木市蔵君)秘書課長に伺います。秘書課長の説明の中に、地方交付税が三百何名のものに含まれておるとい、ました。われわれは過去、官庁にあらゆる面に交付税にこういうものゝ含まれているか、を聞いてお、たんです。すべ、いまだこの面がは、ま、り、り、ないんです。いま、あ、り、や、た、三百六十名の通勤手当に、対、

てお明らかならな、たので喜んでおるのひすが
 今後当局に聞いた場合はあらゆる市交付税
 の中に含まれてゐる面をすゝまりてゐると
 思いますすが今日でなくとも結構です。その
 点ご承知をお願いします。この議案は賛成です。
 〇秘書課長(山谷雅和君) 地方交付税は総務課でや
 っておりますので……この点を良く調べて
 おります。

〇八番(鈴木市蔵君) 地方交付税の中には千六
 百なにかーというものが三百何名かに含まれ
 ておる。地方交付税についていつも言っている
 んですがわからない。自治庁でもわからない
 というような市当局の議会ではないが答弁
 である。いまあるたが地方交付税に對してこ

れだけわか、ておるとこれみわか、てほか
の事はわからぬ事はないと思ひます。

今後これを聞く場合は、まゝりて下さい。
わからないとはいひませぬから。

。秘書課長(山谷潤昶君)三六六名という数は、ま
りそのまゝ、のるかのうないかは地方公共団
体の人口の団体によりましてそれ以上の場
合がある、と又固定されて少なくなる場
合もあると思ひます。

。八番(鈴木市蔵君)あな、たの立場でこれをい、た事
は私は喜こんでゐるんです。あな、たをい、とり
わけではないんです。いま、で地方交付税とか
あらゆる政府の交付税に対しては全然わからぬ
い、だ、から今後とも、こういう金を出す全ての

地方交付税の中に含まれてくるからその点と
明らなところに入れてもらいたいと念をおしてお
くんです。

議長(石井 潔君)他にご質疑ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君)ご異議なしと認めます。

よって五二号五三号議案は決定いたしました。

議長(石井 潔君)日程が二議案が五四号を上程いたします。
す。

(書 記 朗 読)

議案が五四号 消防職員等公務災害補償条例の一部を
改正するについて

。総務課長(完戸 貴君)議案が五四号についてご説明申

上げます。

この五四号は水防従事者の法令の改善にと
ないま—ては公私の消防団員等公務補償条
例というものが従来ございま—たがこの条例を
一部改正—ようとするものでございます。

従来水防^{作業}従事者には公務災害による補償制度が
確立されておらなかったでございましてが今年
これらの関係法令が改正されま—たこの水防
公務従事者が災害になつた場合にはこの消防
団員等の災害補償条例に準じて補償を支
給できるといふことになりま—たがこれを
支給する場合には市条例で定めるといふので
ございします。こういう関係で第一条以下関係各
条へ水防作業従事者に適用する旨を定めま

— 火災と水防作業に従事した者も公務災害の場合も補償を計ろうとするものでござい
ます。

議長(石井 潔君) ご異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君) ご異議なしと認めます。

よって本案は原案通り決定いたしました。

議長(石井 潔君) つづいて日程第一号議案第五号を
上程いたします。

(書面朗読)

議案第五号 館山市中小企業資金の融資に関する
条例制定について

商工水産課長(羽山 房雄君) 議案第五号につきまして

ご説明いたします。

中小企業信用保険法(三十五年)に公布になりました
—の保険法が本年の四月二十六日に法律第九十
四号によって一部改正がありました。

この一部改正で従来金融機関が政府の保険
公庫と契約を結んで融資保険をやっていた
ます。その融資保険の限度額が以前は五
十万円以上でなければいけなかったように改正
が行われ五十万円の最低になりました。従
いまして当市で預託融資をしてあります
中小企業の融資額が二十万円を限度として
あります。そういう関係で金融機関が取
扱っておりますが融資の保証が金融機関
と政府からの保証がある、そういう点でこの

七月一日から法の改正によりこれを信用保証協会に切りかえて信用保証協会に立替えます。す。包括保証保険とこれの一種保証と、この限度が五万円までと従いまゝていまい、この金融機関は今後信用保証協会と新たに契約を結び包括保証保険の適用を受けらるゝので、条例を提案した次第でございます。なおそれにより市にかけられる保証の義務が出て参ります。そので条例化する次第でございます。逐次に説明いたしますと、二条が目的でございます。中小企業融資のために企業保険法に基づいていまい、で、貸付がおこなつておりました中小企業の融資を市の預託融資と、貸付の全部信用保証協会との契

約に基きまして信用保証を附したもののこれを
という、それで中小企業の振興を計るうが
目的でございます。

オニ条は定義を上げてございます。

定義には大体保険法で中小企業者とはこう
いうものであるというようにしてまいって
おります。その中から特に農業協同組合農
業協同組合連合会水産協同組合と組合関係
を除くように果あるいは市で規定してござ
います。法は入っておりますが除いた理由
は協同組合では二十万円程度の融資はいけ
ないであろうということや返還が容易であ
るという事で陳められました。
オニ条は貸付要件でございます。

オ七条返還 これも貸付終了までに返還しなければならぬと規定いたします。償還の方法には月々償還する場合と期限終了時に一括して償還する場合と両方でございます。それを規定してわけでございます。

オ八条は補償でございます。返還未済の者これは保険時刻とい、ます。がこげつゝの場合返還未済の者が出来た場合協会は中小企業者に獻つて債務を并済するわけでございます。その場合国が七割、果は二割、市が一割の割合で補償するわけでございます。オ九条補償の請求 協会は国の保険金を受領した後でなければ請求できない。受領後に証拠書類を添えて市長に請求する。

オ十条は規則えの委任を規定したものでござい
ます。以上よろしくお聴いていただきます。

。三番(ハ)沢太助君 中の企業の甲出はいつちも水産関係
業者から希望があり、三回甲込んだ事があり
ますが条例では、まじりておる通り農業
協同組合、漁業協同組合は除かれておる。

この施設の改善あるいは運転資金という面か
ら考えると融資制度に恵まれていない。条件
をどうしたら良いか。必要額というのはいか
によるか。聞くところによりますと農林水産
業の為に特別に^市当局は融資制度を考えてお
ると事実、市当局にそういう案があるかどう
か。

。商工水産課長(羽山房雄君)お答えいたします。

去る七月の至清委員会での問題をとり上げま
して強い要請があつたのでございます。
従来かういふく要請があつたように伺つて
おりますが非常に有意義な処置だろうと考
えらるゝですが前般融資制度を^{（見）}み^{（て）}あるいは農
協の融資制度をしてある銚子市に職員を派
遣して詳細に状況を調査して来たなその
上金融機関にも渡りをつけておりますが
まづは金融機関の方から回答がありません
のではつきりした事は申し上げられませんが
いずれこの制度を実施したいと考えて進ん
でおります。

○三番（川張太助君）その点は了解しました。がその
条例を考えた場合同じ水産業でも加工業者は

良い／＼に考えられる。加工業者はこの条例に融
合資格者ですか。

。商工水産課長（羽山房雄君）中小企業信用保険法に規定
してある要旨を談上げます。

製造業 鉱業 土石採取業 建設業 物品販売業 物
品貸付業 運送業 運送取扱業 通運業 倉庫業
電気供給業 ガス供給業 医業 歯^{（科）}業 獣^{（科）}医業 印刷
業 出版業 写真業 旅館業 理容業 美容業 公衆浴
場業 広告業 と畜業 映画^{（行）}芝^{（行）}業 以上が規定された
業種でございます。従いまして水産加工業は才
一の製造業に含まれる、こう解釈します。

。三番（小沢太助君）了解しました。

。二番（望月暉作君）この条例が施行されると実際に小
企業者の一番難向題があります金融問題がや

や解決するのではないかと思ひますのでこの案に賛成します。又此の条文の中に貸付事項がある、ておれば市長の承認で貸すと市長の承認を受けなければならぬ。又貸すのが市長だけの承認で貸付出来るのかどうか又完済できるものかどうか金融機関はどのように指定していき、どの預託の問題かこれに金融機関の決定権が大であるこれらの問題。貸付条件を添えて出して市長が承認したら全部それはよろしいというふうに解釈します。すべこういう場合ですが市が行、それ以上もいふことがあつたらう代りに相当困ると考へております。すべ提案された条文通りに簡単に条件をえひければできるものかどうか

これをお伺いします。

商工水産課長(羽山房雄君) 三条の説明で私が至らな
か、たと思ひますのでもう一度たゞ今の質問
にお答えいたします。

貸付の要件でございまして要件を附備した
ものでなければ甲申込み書を持、てても受
付ないということでは貸付を承認するんでな
く甲込書を受取る事を承認します。こうい
うことでは、それにより申込書が銀行金
融機関の方へ送付され金融機関もそれに
よりなお詳細に商店の業者の経営内容資
産内容等を調査し始めて貸付られるという
ことになつて従来の審査委員会に望むわけ
です。それにより審査委員会が貸付ること

とある程度決定するわけですが、ここでも
う市長の承認というのには要件の承認です。
申込みの要件と考えていたのだと思います。
一番（鈴木市蔵君）中の企業について伺いますが
条件というのは銀行なら銀行に取引をする
人と云うのですね。その点伺います。

商工水産課長（羽山房雄君）銀行のあるなにか、
わらず業者は市内に一年以上継続して事業を
している人が事業の設備資金にあるいは運転
資金に必要な感とて申込んだ場合、その人が
払って市税の完納者であるかどうかを調
査して完納者であれば、場合は申込みを受け
て金融機関へ送付すると金融機関は金融機
関なりに信用度とか資産等を調べまして格

めて委員会に結論をもつていくわけです。そして委員会でもなれば必ずしもその銀行と取引がなくなるとも借受けはできます。

一八番(鈴木市蔵君) 今までは相当米銀に対して鶴山市の寄託金の申請した人があるんですが取引がなければ借せないというふうに扱が出された人が随分あるんですが今主管課長さんの説明では取引がなくなるとも市税の滞納とか財産面を調査してみたら結果借せるところには向違いないのですか。

商工水産課長(羽山房雄君) 説明いたします。

(いまい、た米銀から取引がなくなるとも一年以上鶴山市で高売している人で財産があれば貸せる説明がありました。たが念をおす為ですと呼

ぶ者あり)問題いありませんが貸付の決定を金融機関がそこえ預金をもらいに行くような方法はーていたように伺つております。

○五番(福岡保徳君)一ハ審議員が甲一た事は現在米銀一行でや、ているから問題が起ると思うんですが二行あるいは三行ぐういにする計画はあるかないか。

○商工水産課長(羽山彦雄君)たがいまの件でございます。が果の個人融資を信用金庫を通じて過振これに対する企業者も多数ありまして一応現在の所は米銀一行で十分であらうとこいうい見解を持つております。

○五番(福岡保徳君)業者の立場からすると銀行のみだ日本相互あるいは千葉銀行とあるうでか

—— 館山市議会

口融資を扱、ていない二行ぐらいにわけて
いた方がいい方がやり良いんではないかと思
うので一応ご参考までに。

○二番(望月暉作君)先程質問してまいりましたが今又銀
一ツということですが例え甲乙してみても
貸付要件に合、ていた場合市長が承認して
金融機関に提出して金融機関で貸出すと
いうんではすがどこの金融機関でも良いと私
は解釈してありましてたがその後又銀だけと
いう話ですがその点を銀行は又銀だけかあ
るいは館山市にある各金融機関はどこでも
良いというのかももう一回打、まう。

○商工水産課長(羽山房雄君)お答えいたします。

館山市の寄託制度は又銀一かのみでございます。

す。実業銀行が四月の本決算におきまして七月から果の信用保証協会と契約を結んでいて引当保険のオ一種の保険にかゝるわけでございます。他の金融機関は果の信用保証協会と契約が結んでおりませんので市で委託して契約を結んでいる実銀自体は寄託融資はやっております。

○二番(吉田勇吉郎君)良く解釈してみますと、良くとは善意に解釈して、この条例が出来る事は一八番で人のいわれたように非席中に運営委員会がある、ても発言力のとぼーか、たと、なげならば銀行はさ、さもない、たように貸す能力がないと断定した場合、最後の決定権というものは銀行側にあり、たように私も一回違

— 岡山市議会 —

委員長会に出席して感謝のであります。

これの新しい実施されるに當つては七、三、一、という損失保証制度が生れて非常にわれわれの議会を代表して出るような方向になるかならないかわかりませんが今後の運営には相当力強く銀行側に損失を支えないんだと、七、三、一、の損失保証制度が生れてくるんだから、莫大の寄託金融制度であり、進んでくれということは強く要望できるように解釈します。それが今後、然我々が解釈したように運営できます。かどうがこの莫大とつゞき答弁をねがいたいと思います。

商工水産課長(羽山 彦雄君)は、さきそのように出来

るということとは断言できませんが一応これによつて銀行には必配はのけないんだといつてある程度ですけれどもちろんこれは信用保証協会の委員会に望まれることです。当然保証が、それには償てないのが建前です。かうある程度自重するところという意見ものべられると考えております。

○二番(吉田勇治郎君)今後運営委員会ではやはり従来通り運営されてよく寄託金融制度をいかにすることが出来るのにまちがいありません。ですから、こんな従来の方法でも、て運営していくと、いま、このような銀行が絶対の責任を背つような運営の方法はないと解釈してよろしい。うございますわ。

。商工水産課長(羽山房雄君)お答えいたします。

いま、ご通りと変りないんであります。新
 互に信用保証協会関係が生れてまいりました
 す。信用保証協会もある程度の代表者側に
 立ちまゝに関係上調査は周到なほどにて
 償付を決定する。こういうわけです。

。二番(吉田勇祐郎君)わかりました。

保証協会あるいは概要関係団体がとめるこ
 とは当然ながら銀行側がこの人は取引が銀行に
 ないんだから償せないんだという一面的の関
 係は寄託金融制度に反している。銀行側が
 一面的にやるべきでないから債主案として
 当然いまの状態ではこの人たちに主権を与
 えべきが本来だと。銀行が必ず意思がない。

あるいは信用度がうすい為に前回私は出席
してみま—たが相当銀行の發言權が強いと
こんなあり方は運営委員会というのにはた
だ参考にな、て眞のみんなの民意にな、てお
うん。いわゆる業者であ、ても銀行屋とい
えども……（私語する者多く聴取不能）……
今後はあまり銀行^側に強い權限をとらせない
ようにしてもらいたい。以上です。

五番（福岡保徳君）参考までに伺います。寄託—
てあ、て貸出—てゐるおけの金額をいま、
でに出—た事があるかどうか。又貸出—出
来るおけの額が要利されてお、たかどうか。

商工水産課長（羽山房雄君）ただいま数字を持、て
おりません。入体寄託は十四万の限度に對—

— 鉾 山 市 議 会 —

て七百六十万程度出たということをお上げました。これがこれはつぎの貸付に融資してありますのでつぎの融資までに回収できるような銀行側でいたしております。

もう一つ申込み限度一ぱいまで貸したかどうかということですがこの点につきましてもは申込み数は一ヶ月十件内外が大体的に見当でございます。融資制度が出来た当時相当数

申込みがあり、たように伺っておりますが最近では十件内外でございます。その甲の

十件の申込みに対して申込み全額融資するということとはほとんどありません。その内

甲は額を減額で決定を甲に下り甲には減額承認されたりあるいはとり下げられる

場合もあります。そういう状態でもい
つも甲込限度一ぱいまでにはなつてありま
せん。

○五番(福岡保徳君)は「めは甲込みが沢山あつて現
在は十件位一かな」という原因ですか。恐らく
銀行が一行なので止めてもみんなけられて一
まう。あるいはその銀行に取引がない原因が
おもしろうと思うのでぜひ二行ぐらいに――て
最高限度に貸出するように――ていたのだと
いと思います。

○八番(鈴木市蔵君)課長さんに伺いますが、こんど
保証協会と契約したというご説明ですが、保
証協会と契約すると借りる方に保証手数が
とられますか。

商工水産課長(羽山 彦雄 君)保証料というものは銀行が出していないんであります。が、今後は新しい新法によりまして借主が負担するのと、古い旧法によりまして銀行の負担。たゞ時の利息なうべに保証料。こういうものをあわせまして旧法では三割三厘二毛借主が負担してありましてたが新法では一分五厘に減つて七厘の保証料がかけられますので三割にと若干安くなることになる。

○八番(鈴木市蔵 君)今後は前よりも安くなつたんですね。(安くなりまして)利息は日歩三割が日歩二割五厘になりました。保証料は以前は本人負担が三厘二毛であつたのが七厘になりました。保証料が割高になつた。利息が五厘安くなつた。

というごとで新法の方が一我ニモ安いということですよ。」と呼ぶ者あり）はいわかりました。

（異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（石井 潔君）ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（石井 潔君）ご異議なしと認めます。

よ、て本案は原案通り決定いたしました。

議長（石井 潔君）つづいて日程第一＝議案第五六号を上程いたします。

（書 記 朗 読）

議案第五六号 教育委員会委員の任命について
（異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（石井 潔君）ご異議ございませんか。

「異議なし」と呼ぶ者あり

○議長(石井 潔君) 異議なしと認めます。

本案は原案通り決定をいたします。

「休憩」と呼ぶ者あり

○議長(石井 潔君) しばらく休憩をいたします。

二時三十分休憩

二時四十分開議

○議長(石井 潔君) 出席議員数三十名休憩前に引継いで会議を開きます。

(書記朗読)

日程才一三議案才五七号才五八号を一括上程いたします。

(重四記朗読)

議案才五七号 昭和三十三年度館山市特別会計公営
債屋才入才出追加更正予算

議案才五八号 昭和三十三年度館山市特別会計国
庫健康保険才入才出追加更正予算

議案才五九号 昭和三十三年度館山市才入才出追加更
正予算

秘書課長(山谷潤昶君)追加予算につきましてご説明
申上げます。

慣例によりまして才出の方からご説明いたし
ます。

特別会計一般会計を通じましてその他各課を
通じまして職員手当がとられておりますが
各課長の説明を省きまして私から一括ご説

明甲上げます。

職員手当の追加は先ほど議決のありました職員
員の通勤手当、この該当者一般会計におさま
して百八十四名 内訳自転車通勤百二十名バス
通勤四十五名 汽車通勤一九名、特別会計にお
さまして合計一二名内訳自転車通勤六名バス
通勤二名 汽車通勤四名、一般会計の通勤手当
の総額は各課合計して五十四万七千円計上い
た。まして特別会計は賃屋保険の方で四万八
千円を計上いたしました。

職員手当の内の超勤手当を一般会計において
各課合計五十万八千円特別会計におさまして
五万二千円計上いたしました。超過勤務手当
は当初給与の六%を計上する予定でございま

いたが野添の關係で又びまるだけ超勤をおさ
えようという觀察から当初は三%を計上した
のむございます。が現在まで使用した額をみ
ますとというても超勤手当が不足になるの
で今回職員給与の1%を一般会計特別会計合
計五十六万円を計上したのでございます。
以上簡單です。が説明を終わります。

○総務課長(克戸 貴君)オニ款の市役所費の内九項
の諸費の中の委託料として一万三百円を計
上しました。がこれは今回新しく設けたもの
で職員の健康管理の上から定期的に結核健
康診断を実施する事になっておりましてこ
の八月に実施したものでレントゲンの撮影料
も委託料を計上したものでございます。

オミ穀の消防費として二百九万二千四百円を計上いたしました。

オミ穀の消防費の中で二四節の工事請負費として五万八千円を計上してございます。

これは防火水槽の工事請負費が四十五万円でございます。この防火水槽につきましては

従来当初予算で予定をいたしましてた時は国庫補助金がつかないという予定でございましてたが、国庫補助の対象となる消防施設を定める政令の一部改正によりまして三十三年度から一応基準をもつたものは補助対象にするということでございます。至

百二十メートル以内、百二十個以上の家があるという条件で、新町と南町と八幡と那古へ

設置する野水槽が対象になりましたので従
来六丁一万予算に計上してございましてたが
これを国家基準によりまして設置します
時は百六万八千円を要しますのでその不足
額の四十五万八千円を追加したのでござい
ます。

それから簡易望桜は鎌野の二三分団です
が鎌野の分団の火の見が従来木造で風で
倒れたまゝ、になって現在道路を通るにも
作業場の屋根等へふりかゝるといふことで
不便と危険さともないますので今回二尺
と全長三三尺のほゞ式火の見を一基作り
たいと考え工事材料として計上したのでご
ざいます。

二五節の備品費として百四十三万円を計上
 しましただけは自動車ポンプの購入費とホ
 ースの購入費を予定したものでございます。
 この計上したものは二分団のホース購入不足額
 です。二分団としては現在消防ポンプとして
 最高のもうを買いたいという意向が強いので
 いていま、この地元の要望としてはいスズの
 百三十四リキでモーターポンプの二段タービンの
 ところをも平均のエンジンを備えつけたいという
 希望でございます。予算を編成する時はまだ
 各社の見積りがまとまらなかつたのでとりあえ
 ず二百二十万を計上したところでございます。

当初予算です。これに八十万円二分団の消防ポンプを
 買う予定で計上してございます。

それのう一分国が三輪車を購入した時予算が
百三十二万円のを百二十万で購入できたので
この予算残高の十二万円を今回百万と合せて
二百二十万の予定としてたのでございます。
しかし実際問題におきまして見積書をみま
すと二百二十万より高いのでございます。

そういう関係でホースの購入費として十五万
円ですが値段をできるだけ折衝します。がやれ
う得ない時はこの以内で操作をしてたいと考
えております。

。庶務課長（鶴沢寛覚君）七款教育費の五月需用費
につきまして賃金三万円を上程いたしましてたが
これは国庫補助の関係で高等学校費の方へ
計上していただく学校費におきまして十三万

三千七百十円の追加でございます。

需要費の消耗費にあつて一万円これは
研究学校の船形七千円富崎三千円の文具
費でございます。

印刷製本費二万三千円これはやはり同様に研
究学校として指定されて船形一万三千円
神戸一万円印刷費でございます。

一六節の通信運搬費十二万四千三百円電話架
設費ですが当初予算で神余の電話架設費
二十万円計上してございますが先般電報電
託局の増設によりまして千葉の大明電託工
業に見積りさせた所が三十万の、ることでした。
又その他に電報電託局に納める負担金が二万四
千三百円、十二万四千三百円不足いたつた。

ので今回追加いたしました。

備品費におきまして三百九十三万四千円の更正でございますが、学校器具費で七千円やほり、これは研究学校富崎学校の器具費です。教材費八万四千百十円は国庫補助が増額になりました。

図書整備費で四万四千円更正してありますが、図書館法の改正により、小中学校の教育に国庫補助が削られました。この減額です。

理科設備費で二十六万四千円減額いたしました。はじめは校を補助対象として申請して、たが県下の指令により、ますと一校に減らした関係で減額いたしました。

又、保養費で八千三百円追加いたしました。

は準要保護児童の教科書購入扶助費として
当初予算に廻んでございす。が準要保護児
童に不足いたりますので、八月三百円を追
加いた。

営繕費におきまして、十万円を修繕料として
追加いた。これは先般、一の十一号台
風により、ます小学校の修繕料でございす。
工事請負費で十五万七千円。その内訳として
西小学校講堂、電灯及び井戸増設工事費と
して八万七千円を追加いた。たが西小学校は
地えで講堂を建設いた。たが電灯工事を
いた。それから校舎建築にともない、ま
てえありいた井戸をふさぎまして校舎の
外へも、てきましてたがその井戸が低い地面

さうめたてまゝに關係で、ようか飲料不適
という為、にどうしてももう一つ井戸を造設
してやうなければと考えますので、その費用
と合せまゝて八万七千円を計上しました。
電気の方が六万二千円、井戸の造設費が二万五
千円増額いたしました。

富崎の学校斜面改修工事費として七万円を
追加しました。富崎の学校の校内から校庭
に入ります坂がありますが一五度の傾斜を
持つております。為に糞尿くみとりはまいり
ます。自動車も糞尿を一ぱいつみますと上が
らないという状況でございますのでこれを
四メートルほど延長して傾斜を十度程度に
ゆるめたいというのでございます。

中學校費で百四万九千七百二十円を追加しました。

校医報酬として三千円、校医の一人分を減額した
がこれは自治体からの通牒によりましてやめ
られたお医者さんがありますので減額いたし
ました。

需要費におきまして七十九万七千五百二十円を
追加しました。

教材費五万二千七百二十円の追加これは先程説
明した通り図書補助金の増額によります
追加でございます。

図書整備費も同様に一枚減りました為の減
額でございます。

理科設備費六万円の減額はこれもやはり二校

予定したのでありますが一校に減らされた
減額でございます。

産業教育設置費として六十万円計上して
たがこれは当初予算編成後におさまって
二中と豊房中学校が産業教育の設備校と
して指定されましたので六十万円を三十万円
ずつ追加してたが半額は国庫補助をもち
うことになりました。

科学設備費として四十五万円これは二中を安
房郡科学センターとして指定されましたの
でその内五分の一が県の補助となっておりす。
学校器具費で八万五千二百円を減額いたしま
した。たがこれに校長教員の器具費を購入しまし
た。

営繕費で二十五万五千二百円を追加しますが
修繕料の三万円はやはり十一号名風の中学校
の修繕料でございます。

工事請負費で房南中学校炊事場改築工事費
として十四万圓計上してありますが房南の炊事場
くまり倒壊寸前なので改築するものとします。炊
事場の方が六坪の置の所が二坪でございます。

豊原中学校の家畜小屋等建築工事費八万五
千二百円、瑞岳費から更正したので産業
教育指定校の為に施設を作る費用として予
定して反つは家畜小屋と鶏舎温室等ございま
す。

高等学校費におきまして二百二十五万一千八百円
を追加してあります。

校医報酬として三千円一人分を追加して
従来全日制定時制を合せまして齒科医が一
人でゐるがなかく手が回りまわすのでこ
れを一人増員してゐると思ひます。

需用費におまゝして備品費で十萬四千円を追加
いたしました。が学校図書館法の改正により小
甲学校の方はひき上げましてが高等学校の
方は今回館山高等学校が対象校になりま
すので計上してゐます。

管理費で賃金消耗品費食糧費手数料は
つきの産業教育特別教室増築工事費の増
減に相当するものでございます。

工事請負費の二百五萬二千円の内百四十五萬二
千円は高等学校の産業教育の施設備指定校

として今回補助対象になりますので対象の
工事が二教室 体育室と簿記室ですが四十八坪
四合です。この三分の一が図書補助になるので
ございます。

つぎに助成金として校地埋立工事費五十万円
を計上しております。これは先般、て議決をわが
いま一校地の買収坪数二千二百三十四坪の内
約六百坪分の埋立工事費です。一坪千円とし
て計上しております。

幼稚園費の修繕料一万円これも十一号台風に
よる各幼稚園の損害です。
以上で説明を終わります

○厚生課長(神作啓次郎君)十一項の厚生援護費の内十三
節の食糧費四万九千八百円計上しておりますがこれ

と戦没者のいかに祭を行ふ為でありますが一
人三十円程度のパンを差押へ上げたといふよ
うなわけでございます。

六項のと場費でありますが二五節の備品費一
万円計上いたしました。これは今回と夫二名でや
る為にまゝ上げることが必要なので計上しました。
九項の環境衛生費で二六節の原材料費六〇
万円を計上したのが衛生について非常に薬
品代がかゝりましてたので追加した次第です。
十一項の清掃費ですが二四節の工事請負費
三万二千八百円計上しました。船形の一町
内会としてごみすてばの用器二つ作りたい。
一つ一万六千四百円を二つ作、た為に計上した
次第でございます。

よういくお願います。

○農山統計課長(吉田 邦一) 部長「款の産業経済費に
つてまゝで説明申上げます。

一項の農業委員会費につてまゝでは秘書課
長から説明されたので省きます。

三、項の新農山漁村の対策費ですが六百五十二
万六千七百円を今回追加する次です。

一、目の計画樹立推進費ですが現在才三地域
才二地域が特別助成実施地域に指定されて
おりますが旧市内に於ては助成地域が指定
されておりますので本年度中にぜひ調
査地域にしておきたいと考えます。

調査地域に指定された場合はその協議会に
対して果より五万円以内の助成があります。

ので見込みまゝで五万円を計上してわけです。
二目の特別助成施設費ですが六百三万七千三百円を計上したので内訳は五節ですが備品費に付き特別に、に設けた理由は全員県費負担に対する指定がありまゝで、地域の面につまます県より助成が別にまます。因係で備品費として計上してはいますが大体研修キャンプのテストその他備品につま購入費を二十五万九千五百円を計上してわけです。県費土地調査器具の購入費二十五万九千八百円を計上してはりますがこの二つとも五〇％の助成がありますので測量器具等はこの際購入して全員の研修を合せて日常の私達土地対象の面の測量器具にも利用してはいと

考えまゝで四十一万九千三百円を計上いたしました。
 ミニ節の負担金補助及び交付金です。が五百六十
 一万八千円を計上いたしました。内訳は旧九重地区
 の大井の農地交換整備事業並に安藤の小
 規模土地改良事業九重の推進栽培組合の
 不時栽培事業神余の協同製炭施設でございま
 す。

つぎの共同集荷所の設置費ですが神余の上
 大会に設ける計画です。

農事放送施設です。オミ地域、豊房並にオ
 ミ地域の全般に渡りまして農業放送施設を計
 画することになりまして、ついで計上しました。

つぎに青年研修所ですが、高崎の布良に研
 修施設を設けまして、湊村の青年を、その他の

研修に活用して参りたいと考えたわけです。
以下生活改善共同給水施設これは岡田の部
藩に对—ニロ戸ですが地下水を利用—て簡
易水道を敷設—て生活改善を行う。
次の水産荷捌所の設置ですがオニ地域西岬
の波佐間漁業協同組合におきま—て荷捌
所の設置を計画。

なお共同給水施設については相ノ浜の漁協が
適用対象になりま—て給水施設を作る。

次に漁船共同給水施設ですが西川名の芝の台
に簡単にパイプを作りそこから漁船へと給水
をするとパイプにドカ層の設置補助です。
最後の生活改善共同水利施設ですが布良の
地已で漁業者を対象と—ま—た無料の浴場

施設を計画したわけです。

以上の項目による事業費が九百二十三万七千円でございます。この四八%五百六十一万八千円が負担金補助金として計上したいと考えます。

この財源につきましては市と両面の助成によつてまかないます。

つぎの三目的の青年建設果費負担でございますが、先ほど申し上げました本市のオミ地域を中心として、まして二十五名ないし三十名を一つの班として、一班をオミ地域に設置するということに指定を受けましたので、それに要します研修の講師の謝礼報酬をお二ヶ

月ない—三月月の合宿期間です。から一名の補導
者を設けまして、これが総括責任になるという
関係で補導者雇上料をこゝに計上—ました。
その他消耗品費、燃料費、食糧費、光熱水費、
通信運搬費つぎ必要なものを計上—ました。
—丁節の借料及び損料、これも実習によりま
機械等の借上料あるいは映画フィルム等の借上、
合宿用器の借上料を計上—ました。

二五節の備品費です。器具の印刷購入費の
面において、いろいろ青年の指導教育にあて
たいという関係で印刷器具購入費、それから
特に昨年実施した地域についても大部分機
械化の希望者が多いというような関係から
して、当市内の青年班にあつて実習用の三輪車

の中を種度を購入してその資格をとってやる
 というような面を考えて備品四万六千円を計
 上し上りた。

ニハ節の施設費ですが合宿用に使います全
 屋が決定してあります。豊房、九重、館野
 の公民館を借用して宿舎に当てたいと考え
 ますので畳破損の整備費を計上しました。

三万八千円を果費負担費の運営費として三
 名ないし三十名の青年が参りますのでフト
 ニ米等は持参します。フトニ等にあつても
 いてもある程度貧富の別がたいいのは
 乏けたいという関係のウフトンのオ、イ等の
 負担を本人が半分市で半分と考えて三万一千
 円計上しました。

四目の需用費ですが新農山集村の事務を処理していく上は役所の事務的な費用において十一万七千七百円を計上する次第でございます。

四款の土地改良費ですが三百四十六万六千円を追加する次第でございます。内訳として本年度の土地事業が布沼、佐野、藤原、八神宮の四ヶ所が岩手省の指定をうけまして千前中が議決なべいまして分担金等に基づいて四ヶ所の総事業費三百四十六万六千円に対してその他必要の計画を計上して小田土地事業の完成を期したいと考える次第です。

簡単ですが以上で説明を終わります。
よろしくお願いたします。

商工水産課長(羽山 房雄君)が五項の商工費について説明いたしました。

二 二節の委託料で十万円計上いたしました。

これは、岡山商工祭の費用計上いたしました。が十万円では当初商工祭とする計画を立てました。が祭を進めるにつれて規模が大きくなりました。市のお委託料を十万円増額してほしいという要望で追加を計上いたしました。

三 三節の投資及び出資金、これは先ほどご議決いただきました条例とは別に県の保証協会が事業の拡張に伴い県及び各市に対し五万円の出資を要求して参りました。当市には五万円の要求がありましたので追加いたしました。

総務課長
(文書係)

十一款の財産費三七万の積立金として二百万
円を今回予算に計上しました。さんどの市庁
舎建設準備積立金として当初予算と今ま
での追加予算と合計千八百万円を積立て
たので、すべ今回更に二百万円を加えまして
本年度計二千万円を積立てようと考えたもの
です。

二ハ節の施設費として六千二百万計上しました
が、これは館山局の電灯配線の買上金です。

館山局は市営の市の財産ですが、館山局では
これのう年々等に当り非常に電灯の配線が
あるというので、電灯会社に甲入れたところ
が、これは現在貸付の電灯線であるので買上
げてもらうわけならば、工事の出来ないので買上

が依頼がありまして、たゞで一灯百円で六十灯分
買ひ上げようと思うものです。

。農産統計課長(吉田耕一君)―二款の統計調査費につ
き説明いたします。

一目の調査員の報酬ですが、商業統計調査員ニ
五人分ニ万五千二百八十円計上してあります。

需用費の本調査に用います文具費、会議膳料
等をふくみます。二万五千二百八十円をおわ
せいたします。この調査は、国の委任事務でござ
いまして、果のうそのまゝ、ましてそのまゝ、調査に
当るといふ制度で承認をおいしたいと思いま
す。

。送管書記長(渡辺 英君)送答費について説明いた
します。

選挙費の需要費の賃金でございますが選挙
人を滋さ九月十二日現在で台帳を調べまして
十月一ばいまで作る為に臨時用人を雇う賃金
です。一人一日一セロ円で五〇人分です。印刷
費は選挙人員の比較対象の用紙一枚八十五
文で一万枚の印刷費です。

知事選挙費については県の方から通知あり
りまして十五万程ふやしてもよいという内
示がありましてなので備品費十五万を計上し
ております。

市長選挙費につきましては超過勤務手当
の増額分と需要費の消耗品費 通信運搬費
修繕料その他に必要な費用を追加計上して
おります。

七項の果會議員の選挙費用ですが旧大村の方
だけが行われない関係から主会人の報酬一
万四千六百六十円計上してあります。

諸手当需要費についてはいますでの選挙
費用の額を勘案いたしまして計上して
。税務才二課長(伊藤幸太郎君)は、つぎ
五款の諸支出金でございます。

税務二課関係の徴税関係で十四万五百円の追加
ひすば市税徴收費で臨時用人雇上料と
て二万日分を三万四千円計上してあります。

つぎの六千五百円の借料及び損料は出所所の
市税徴收に当ります。会場その他の借上料
として謝礼の意味で一会場五百円平均で十三
ヶ所分を計上してあります。

過年度支出金十万円ですが過年度分の市税に對します借入金金の償還金でございます。

建設課長（新井重助君）一六款の市庁舎建設費について申し上げます。

庁舎建設費三百六十万円計上したのは設計業者の選定と選定しましてからの実施設計に移るまでの経費を計上しました。

詳細に申し上げますと現在建設業者の方から指名を願つてきたのが八社でしてこの内どれを採用するのといふことは建設業者の構想がございせんのでいく社を指名するといふこともまいりませんので過期新庁舎建設準備委員会におまゝして業者の決定を以て建設甲上げたりでございします。それで選定方法

と一より正式に設計基準に従い業者の合^申わ
せの正理の方法でいえますと相当多数の経費
がかかるりますので当市に現在指名を申出で
いる者の内数社を送びまして会社の方の
腹案はどういうものかあるいはどうい^う構想
で設計をする。一応構想を図面に表わしてみ
かげの設計協議をしたいと思います。と
その費用を今回お願ひするわけですが
その図面を提出しない会社は館山市の庁舎
設計に関係がないということでは私も順次
そういう会社をオミットしてゆきたいと考
えております。

週般各市を回りましてたがいずれも正式な協
設計をやらずにかげの構想の図面により審査

一番良い設計をとりまゝて当選者に設計
をやらうといふというわけでございます。

多市もその例によりまゝてやりたいと考へて
これ予算を計上した次でございす。

各節に説明甲上げますが旅費は普通旅費
と費用并償五千円ですが東京か千葉から設
計を審査する人の旅費に当てたいと考へて
おりまゝす。

報償費二万円は簡単な設設の提出者の審
査にの、た先生方の謝礼金として計上し
まゝした。

賃金ですが市庁舎建設地の測量をいといと考
えております。

消耗品二千四百円は同面に要します消耗品で

ございます。

食糧費＝万円これは設計審査の賄料です。

委託料三百二十万円これは設計監理委託料で
一番優秀な設計図を出した会社に建設々計
を委託するのであります。

その時の設計費の仕上るまでの監費費
です。

二四節の工事請負費は市庁舎建設の地賃の
調査とする関係上十四万四千円を計上しまし
た。以上三百六十万円の内訳でございます。
市庁舎準備の為に要しますりで議決の
ほどお願いいたします。

○総務課長(宛戸貴君)お入につき説明申し上げます。
オ一番の地方交付税に於て千二百十八万一千円を

財源にいらしてました。

本年度の地方交付税の決定額は六千百五十一万円です。で今回の追加を合せまして六千六十六万一千円を予算に計上したことになります。ので残りが百十四万九千円ということになります。

才四款の分担金及び負担金百九十二万四千五百円でございますが先程五十五議案でござんたをいたしまして布沼、佐野等の地元負担金を計上したものでございます。

才六款の国庫支出金六百四十四万七千六百九十円でございますが教育費負担金が七十二万四千三百三十円、国庫補助金が五百七十四万一千九百円です。才二目の教育費負担金の教材費負担金を丁

三万六千八百三十円を計上し、また各校
の甲学校の分として当初予算で七十六万二
千五百円計上したのですが、今回八十九万九
千三百三十円と負担金が決定となり、また
のでその差額を計上しました。

オ三節の産業教育設置負担金として三十万
円を計上し、また二甲と豊原中学校の六
十万円に対する二分の一の負担金を計上し
たものでございます。

オ四節は高等学校の教育施設費として三十
万五千五百円を計上し、また特別教室を
設置しようとする百四十五万二千円に対す
る
国庫の負担金を計上したものでございます。

オニ項の国庫補助金の中でオ三節の新農山

漢村対策費補助金として四百八十五万四千円
を計上してまいりました。この内オ三地域の分が二百五
十五万九千円オ二地域の分が二百二十七万五千円
本年度の二地区に分けて六万四千円補助金を計
上してまいりました。

オ四節は青年班建設事業費補助金として十三
万三千九百円を計上してまいりましたがオ三地区該当
事業の三十二万に對するものでございます。

オ五節の公園地開発整備事業として七十九万
九千円は今回布沼その他の開発事業に決定
したものを計上してまいりました。

オ七目の消防施設補助金として十一万五千円
を計上してまいりましたがこの内最初に消防自動車
の購入費として補助金をまきまいりましたが今年度

消防自動車は対象にしないといふので三十三万五千円を更正減にいたします。そのかわりに防災水槽の建設費補助金を三十四万円計上いたします。そので差額の十一万五千円でございます。オセ款の果支出金として五十三万六千四百八十円計上いたしますがこれは教育費関係の補助金を計上いたします。

オ三項の委託金として選挙委託金を三十一万六千四百八十円これは果知事の委託金と果会議員の補欠選挙の委託金でこれによる支出の金額を計上いたします。

オハ款の寄付金は百九十五万七千八百円計上いたします。この内消防の寄付金として七十一万五千円を計上してございます。これは今回ポニプ

をオ一分団とオニ分団が買う為に当初二百十二万円予定したのですが一分団が三輪車を百二十万円、二分団は自動車、ポンプを二百二十万で購入する見込みの見積りですが二百二十万予定して予算に計上したのですがその額の合計三百四十万となりまして当初百六十万計上してその不足額を六十四万追加したのです。

教育費寄付金として百二十万六千四百円の計上ですが神余その他の学校教育費費に対する補助金地元あるいはPTA、A、からの寄付金を計上してました。

オ一、款の雑収入として四十万円計上してあげています。衛生薬品六十万円の内三分の二を便用者負担というので四十万円を計上してました。

議長石井潔君一ぱうく休憩いたします。

三時三十五分休憩

三時四十分開議

議長(石井潔君)休憩前に引續いて会議をいたします。

三番(嶋貫壯作君)先程の生活改善共同給水施設についてもう一べん説明して下まい。

農産統計課長(吉田耕一君)ご説明いたします。

新農山の特別助成の生活改善共同施設の補助金の点です。補助対象事業にやはり入っております。ます関係で豊房の岡田十九戸と共同集会所に一ヶ所とりまして二〇戸の簡易水道施設を実施することになりました。

その事業の補助対象になりましての事です。

○三番(嶋貫北作君)簡易水道の形式をおやりになる、そうすると簡易水道というものは市が主催しなければ市が費も補助金も出まないと。純然たる共同組合なりでおやりになる考えですか。

○農産統計課長(吉田耕一君)簡易水道と甲上げたんですが簡単な給水施設という考え方で果も農林省も認めているわけですのでその施設をほどこす為には保健所等の実施調査をうけましてこの程度ならいいということになりまして認めてもらいました。

字で書く簡易水道ではなくして簡単な水道施設というふうに考えます。

三番(嶋貫壯作君)そのようなお考えで結構かも知れませんが、いよいよ一歩進んで検討ねばいけません。市の余分な金を出す。又市でやるべきものを民間におや、左為に起債も補助もうけられないのは市が補助してもとても足りないと思う。

八番(鈴木市蔵君)課長に伺います。農林の問題ですがもうケー明確に説明して下さい。各協同組合によつて計画されたものと市が受け入れると思うんですが、この点について。

農産統計課長(吉田耕一君)申し上げます。生活改善協同水道の施設でなく給水施設というふうに考えまして、共同の給水施設を施す。そして給水施設を設置すると各自が考えております。

。三ニ番(嶋貫北作君)に於て簡單な給水施設でも簡
易水道として取扱われる場合があります。
その場合簡易水道と銘をうられ、臨時補助を
なんらかの対象にする場合、市が主催でなけ
れば出来ないと思われる節があるのではない
一度の検討をお願いしたい。県の補助なり市の
補助で足りればいいですけれども足りない
で市債をあらわなければいけないこととなる
と……。

。三ニ番(吉田勇治郎君)事業の説明をして、方がよいと
思います。

。農産統計課長(吉田耕一君)事業の性質は生活改善
を基として、互に共同の給水施設を施すことが
事業の目的で、この実施部落は岡田農業

共同組合部落の希望でして総工費四十九万一千円です。その内の二十三万円が補助助成でござい
ます。その他の負担金額は自己負担でということ
とで現在実施しております。

○三番(鴻貫庄作君) 向うでもや、たからこ、ちでも
やるという時になつて簡易水道の適用をう
ける場合になると簡易水道ならばもつと大ま
なものばやれるとかその場合に地元負担金で
足りないで起債をあおくなり果の補助を
あおくなりすることは市でやればござる。
たが単に事業の性質でなく、^形式の上にある。
又事業を完成すればいいが完成しない場
合も起ると考えて対策を立てとかないとな
うないかう今一段研修まで、たうと甲上げる

のであります。

○三四番（高橋文治君）課長さんに伺います。新農村建設促進委員会で決定した事をこゝに提案していただけますか。

○二番（小坂光義君）ただいま皆さんの方から質問があり、て答弁がうまくなかないような感じがあります。吉田課長に伺います。新農山漁村の総合開発事業計画の基本を説明して下さいますか。

○農産統^計課長（吉田耕一君）お答え申し上げます。

新農山漁村の対策五ヶ年計画は本市が指定をうけまして三十一年に実施調査地域の指定をうけたのであります。それによりても三十二年と今年で二ヶ年を経過してきて特別助成事業を

九重、籠野と豊房その三地域において実施して
 あるわけでございます。なお目的としては新
 農山漁村をよりよくさせる為に村の発展は
 都^の会発展になる。そして精密な基礎調査等
 を実施して出た実を各地域びとに協議会と
 いうようなものを設けまして協議会で諮り
 なお市長の諮問にも応じまして一地域に
 おいてのいろいろの実施計画を立てるわけだ
 ーて今年度のオニ地域オニ地域の実施地域に
 おきましての特別助成事業の事業として
 いくつかが協議会で立案されこれお県の協
 議会へと提出されなお農林省の振興課で建
 議されまして始めて指定をうけ籠山市とし
 てオニ地域オニ地域におきまして今年度はこ

うーた莫が範圍になるという關係のうーまー
てこうーた特別助成の政府はーてまひも農村
の振興を関るといふことにな、たわけでござい
ます。あくまひも新農村建設五々年計
画は助成実施が経過ニ々年でございます。そ
のニ々年以内に一地域が一千万以内の事業を
実施できるといふふうに取り扱要項に指定さ
れてあるわけでございます。

その一千万の四〇%が政府の補助になる残
りの六〇%は指定をうけてどうーても事
業が出来ない場合には残りの六〇%が起債
対象になる。残りの二割を自己資金とし
て事業を建てていく段階にな、てありま
す。従いまーて新農村建設総合開発の事

二 創山市議会

務要項に基き私たち協議会のかたちと各
域ごとに協議検討——まいて計画を立てられ
果の承認を得られたものを今回実施——それと
考えて本予算を上程しました。以上です。

○三三番(嶋貫壯作君)長々のご説明ですが私は真か
うに真までわかっているとは申し上げませんがそ
の位の事は一通り知っているつもりです。
ただこれは水道程の規模をささいなことで
が無理だと思えますのでご研究をどうぞ甲
上げ込んで岡田ひびきるといふものがそ
う補助だけで十分ひびきるかどうかに説明をね
がいます。

○農産院計課長(吉田耕一君)お答え申し上げます。
補助だけでは到底出来ません。

今後簡易水道との関係については私達
が簡易水道としての方類の点につき質問
したんがすがそれとは別で進んで差支えな
いというようにさいたので進んでまいりま
した。

。三番(嶋貫壯作君)ただ今日の場合はこの生活共同
改善施設に対して二十三万円補助したものの
により改善が出来れば良いとこういうこと
にしておきます。

。四番(脇岡順一君)ただいま問題になっております
岩山漢村の振興協議会に私も一員として参
加したのです。一か一岩林舎は岩山漢村の自
力による事業をいぶつてそれに援助するとい
うのが精神であるようにひすがその自力すう

もないような部落はなんらその事業を進行
 ーえないところに農林省の新農山漁村の欠
 陥があるこれはあえて今回だけではないが今
 日の状況は全て補助金制度になつております。
 ゆえになんらかの呼称水的な地元の負担と
 いうものがないうるだけ朝からいろいろ我
 らが議してきただけでも地元負担が出来るから
 事業が進展する。そういう所はますしく進
 み自力のない負担に堪えかねているような
 部落に於てはななくとみられていく。従つ
 て貧弱な地帯も進行させることこそ農林省
 ならぬに各町村の行うことである。新農山
 漁村の^{実施}した後には更に実施されるか、反以
 前より部落のいろいろ文化教養の面に於ての

質問いたします。

先程の説明で商工祭をや、た為十万円不足—
 左のひ計上—た。それは行事そのものは
 誠に結構です—予算額の比率なのであるて
 とりやめるべきものでないんですが予算
 というもの、のすじからい、てはた—てこれ
 正しいかわるいか。私は少なくとも予算以
 内で執行するものであ、ても—それが不足
 であるという場合には^{事前}追加すべきものでない
 と。これに対する課長の意見をとりたい。

。商工水産課長(羽山房雄君)お答えいたします。
 事前追加予算を—なか、左のはいゅう—
 おわがい—ます。—か—十万の増額につま
 ま—では当初考えていた方法でなく商工業者

の方が非常に熱意を持す行事も盛上りど
うしても資金面で市の方で十万円負担して
もらいたいと代表者の要望がありまして
で市長が了承したのであります。

市長（田村利男君）追加のことですが金を使つて
まゝなあとで十万追加を出してけいめんとい
うお言葉ですが私の方もとくに考えま
して予備費のう出そうと考えなわけですが
れでは大人げないので今日商工祭の行事は終
りましてなごあの商工会議所や商工祭りの委
員長の報告にも会計決算報告書にもある
通り十万円は未払金になっております。
まだ支出してございせんもござい
承認をねえれば幸いと思つて十万円を支

おさしないで會計を報告したわけであらう。まゝ
つて協賛を得てから払う。會計もまだ払、
てありませんので會計報告にも払、てない
ということをお教、てあるのでございます。

○ニ七番(黒川佐太郎君)西交するにや、たことあるいは
金額の面、そうい、た面からい、て結構な事と
思ふんですが、予算の筋というものに私の筋
さわか、ていただければそれでいい、です。

○ニ番(望月暉作君)送奉費についてお尋ねします。
当初予算に於て知事選と市長選は始めから
わか、てゐることとございまして当初予算の
時細んだのとその他にこういう知事送奉費市
長送奉費が追加してあります。

これも前も、て送奉があるのはわか、ており

ますが当初予算には無理にケなく組んだ感があるが追加予算の^性質は違うんじゃないか。知事送費の需要費十五万円ですが変った器具を購入しなければならぬ。果ては委員旅金めくるから買うのか。なお午前中賃内——た超過勤務の問題ですが説明を、ますと一時間七十円支払われるのを三十円、——かも知職員組合の調整指令いだそうですが私は鎌山市役所は指導——模範をやらなければならぬのに正理に支払われていない。先ほどの通勤手当の問題もありますのを超過勤務手当もは、きり——ていふ所をたい。

。送管書記長(渡辺 茂君)お答え——ます。

知事選の備品は通牒によりますと十月にありますので果ては十月十一日から二十日頃の間に選挙の日取りをきめ行ふ線になつております。その為私の方の職員が三人でその間に選挙人名簿を調整し選挙の準備をして市長選挙も準備する事は名簿がとてどもまもないので臨時用人を入れて期日までやると。

印刷の方では選挙が近い為です。

選挙費用を追加したというのはどの位か、と見積るのですが果ては衆議院の選挙のセロ％は出せると会議で話があるまいと。もういまいたならば投票箱、記載台が痛んでおりますので備品にまわして参議院の選挙までには備品類を全部そろえたいという考え

かう十五万円を追加した次でございます。
当初予算に細まなか、其理由は一応二十四万九
千六百円で選挙がござる考えで、其が果の知
事選挙の予算の割増が増えた為計上してま
した。

市長選挙は大体果の選挙費用を下回って計上
して、其が果の方で地元の選挙は、とか、ろ
というので技術的調査からこの程度上げま
した。

借料の關係は当初予算では少なかつたんですが
地元の選挙は委員会が全部運動の証明とか動
議、そういう、其ものを整理する關係で追加しま
した。

秘書課長(山谷菊相君)超過勤務手当について説明

明甲上げます。

午前中甲上げまゝに通り現在の超過勤務手当の支給は職員組合の話し合いの基に支給してあります。

これは条例通りいきますと給与の最低の職員にも一時間三十一円又高給職員に対しては一時間二百円位になるのです。これを条例通り支給した場合に既源に困るわけです。同じ仕事をや、て一人が三十一円一人が二百円も

ら、たんでは現在の段階ではまだ不公平が生じてきます。なお各課に条例通り支給した場合明らかに長勤手当がほしい為に超勤をしたらとそれでは困るとそれかとい、て超勤手当を超勤しても切、てしまふと、こういうのもまじりに

超勤した人には気の毒である。こういう事を考
慮して職員組合と検討した結果、当分の間は
一時、同三十円で職員の方もかなり妥当じゃない
かと。――かゝ最近これをいくらか増額してほ
いという声もありますので、できるだけ超勤を
節約してその分に回したいと考えております。
○五番(福岡保徳君)市庁舎建設費の内の二、三節に設
計監理委託料三百二十万円とありますが、これで
大体市庁舎の予算あるいは規模等がわかるり
になると思うんですが、簡単に説明をわべ
いたい。

○建設課長(新井重助君)お答えいたします。

いまのところ庁舎の坪数をはっきりしません
が、各市を回りまして標準をとりまして、鎌山

は千百年位が妥当の年数が出たのでござい
ます。それを建てますには坪数何万、一応ハ
千八百万か、ることになります。

設計監理の報償金、その費用は設計会社が
申合せまして設計するに合致出来ておりそ
れによりますと市役所の設計料が四%か、
るというんでこの範囲以下に三百二十万とい
う数字を定めましたのでございましてこれ以
上か、るといふことはないのでございます。

○ニ七番(黒川佐太郎君)送答費の需要費のところ
で臨時用人料 一日一人百七丁円と規定され
ておるのですか。

○送答書記長(渡辺 茂君)当初予算の臨時秘書課
で示された数字でございします。

○二七番(黒川 佐太郎君)これは送挙人名蒞の調整
ひすか。

○送管書記長(渡辺 英君)さうでございます。

送挙人名蒞の有権者を調べてきた名帳と

送挙人蒞の用紙に書く為の臨時用人です。

○二七番(黒川 佐太郎君)送挙人名蒞というのは重宝
な書類だと思ふんですが堪能なものを扱
ても用人にはそーて解決がつけられる所
うか。それをお伺いします。

○送管書記長(渡辺 英君)名帳の方をまず審査
して審査の結果良くな、たものを臨時の人
に書いてもらうんです。その後名帳の読合
せをやりまして直接その人たちは送挙に
かかっていますけれども読合せの時には今

お、ー、ー、に事は十分注意してやりたいた
思います。

議長(石井 翠君)が異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 翠君)が異議なしと認めます。

よ、て本案は原案通り決定いたし、
な、あ、この際お諮り申し上げます。

先程松本議員から緊急通告書内が議長
の手許に届いております。

本通告は^{議員の}勸務評定についてでございます。

す、が先般休職中に議会運営協議会に参り
ま、したところ本日、日終了後緊急書内を
議員各位より承を得られたら、^参事、
う、か、というのでござい、ます。本緊急書内を

議題といっております。

本通告を許可して良いか皆さんにお諮りいたします。

許可することには異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井潔君)が異議なしと認めます。

よって松本議員、緊急通告質問は本日の日程に追加いたします。

二九番(松本藤太郎君)が問題になっております小中学校の教職員に対する勤務評定問題ですが現在にいますと教職員の問題ではその実すでになくなつてきておる。従いまして私達として父兄としてあるいは実際にこれを実施する地方教育委員会には

どうようにこれを扱つておるかという点でお尋ねをするわけでございます。決して私は感情はぬえたくて今日は教育長さんもおゐる——意見をお尋ねします。

館山は非常に純然と申しますかものあたりがいゝと申しますか教員組合が静かにいていゝすが非常に良くやつておられる。これは教育委員今の指導のよろしさを得ているのかどうか知りませんが一般の市民もこれに對しあまり関心がないように思う。——新聞をとつておられる方は関心をもつておる。新聞の家庭欄にどう／＼と出ている。勤務評定の内容が相当くわしく大きな新聞に皆出ている。莫き落してつけ

るとか甲乙をつけるとかあるいはごく最近に
至りましては勤評紛争への批判というもの
でも、て毎日新聞でございましてやはり出
てある。これに对していろいろ甲央の方々の考
え方あるいは灘尾文部大臣などの考え方が
出ておるんですがこういうものはマておまじ
ーてまじー番大事な地元の鎌山市教育委員
会で勤評に对してどうふみ切ったかこの実
をまずお尋ねしたいのてございます。ただ
尋ねるところ甲乙まじーてもお困りと思いま
すが勤評施行規則もあると思えますがどう
いうものがどういうものか。又鎌山の委員
会ではどう処置するかという実いま一つ委
員会はこの問題の審議の過程に於て全員こ

れに賛成されたか、あるいは対象的な意見が
出たかどうか。まず最初にこの二点について
お尋ねします。逐次質問いたします。

教育長（工藤和平君）お答えいたします。

事務局として勤評を来年から実施する。教職
員の勤務成績の評定の問題についてはこれは
発足当時非常によろしく、たゞ承認のよう
に要領果におきまして必要以上のトラブルを
起しなというのにわざわざの感を感じると
こう思うのです。その後大阪和歌山におき
ましても同様の問題がありましてこれが
もと／＼国家公務員といわずあらゆる社会
に於て勤務評定ないしこれに類するものが
実際おこなわれておるのでございます。

従来やっておりましてのは今日行われよう
としております勤務評定のひとつ科学的
な法律的なものではないかも知れません。そ
こで教職員に対する勤務評定の問題ですが
これも従来人事管理の面で不分明なやり行
われていたものです。そこで今年度の初め
にありましてが全国都道府県の教育長及
び連絡会の名に於て教職員の勤務評定の
試案を作成いたしました。それに基づいて
各都道府県が責任において案を陳べ、その
であります。千葉県にあてましてはこれ
を乙分的に慎重に検討を仰えまして各地
方の教育委員会ないしは各地の校長会、PT
Aあるいは組合員というようなものといっく

り話し合ひを重ね千葉県の実情にそくしを案
を練り上げまして四月の始めにその内容を
公表してございます。更にその反響を静か
に見守つておつたのであります。が他の都道
府県ではすでに実施してゐるで全国で三十八番
目に六月の十二日実施をしようという案を打
出してあります。千葉県教育委員会でも知らせ
てある。そして六月十二日に千葉県の実職員の
勤務評定規則並に実施規定というものを県報
号外で公表いたしまして広くみてもらつたわけ
です。その後各ブロックとにこの地方は君津
本更澤において安房郡市の規定並に規則
の説明会がございましてたがかなうな事を重
ねまして万全を期してまゐるところのうのが

千葉県の場合でございます。それに基づきまして我々館山市教育委員会今におきましてはその規則並に規定を各教育委員に直ちに配布いたしまして五人の教育委員において五人の教育委員が約一ヶ月間内容を検討いたつてございます。その間もちろん地区の校長今あるいは連合P.T.A今あるいは組合という人達いろいろ折衝話し合いを重ねましてもうすぐこれにはわれわれが県の奥案に基づいて県の計画に基づいて実施する義務を負わされているがゆえにやるのが不当であるという見地に立ちまして八月二十一日に決定の線を描き出したのであります。ただちに組合の正副支部

長に通告をいたしまして翌日から八月二十三日、四日に評定者たるべき各校長に評定書を渡したようなわけです。

実際に評定書の提出は十一月一日。そこで今日まで組合との話し合いにおいても、わめてながやかたに談笑の間に話しを進めてまいって今のところ問題がないように思います。なお教育委員会にありまして四人

全員一致して決定の線を出したわけですが、二九番(松本藤太郎君)最初和歌山や愛媛でも、て反対斗争が熾烈であつた為、この勤評が出たところ、こういうものを作るようになって、とおつ、といまゝおどろくという方法がありました。それのう果て決定されたものが、市町

村の委員今般義務づけられてゐるといふこと
とでございします。私はそのようには新聞で
見ていないのです。が、なにかさういふなにか
あつたうふゝえていた。が、さういふことは
地方の町村委員会においてはその勤務評定
なるものはいま少し研究の余地がある。して
町村教育委員会今では見送つてゐるところ
もある。それから実施を口ふくらゝてゐる
ところもある。九月十月十一月とありま
す。が、館山は十一月ださうであります。こ
れを見送つてゐる町村もある。又、これをやら
れては困る。現在の民主教育という大きな
面からいゝて困ると。相当研究の余地が
あるとして、これを実施すべからぬ町村も

ある。――今教育長さんのお話しです
と義務があるとお、――いまいたが同じ地
方自治体においてそのような事があるかど
うかその実を伺います。今一つ教員組合
と和気合々の中で話し合ひなされてある
ということご誠結構です。私たちも敬
意を表します。――その内容において
こゝで二の事でも結構です。もちろん
教職員組合としては評定をされる、される
からには人事あるいは給与のいろんな面
に大きく響く。これは何よりも苦痛がと思
います。従いましてそういう実必ず教職
員組合としては必ず出ておると思ひます。が
そういう実を必ず約束通り実施されるかと

うが。以上三頁お伺いします。

教育長(工藤和平君)オ一頁は和の答弁が誤解されたようです。愛媛と和歌山で騒ぎ紛争があつたのでこれは自治庁の通達により行いません。もと／＼やるべきものがスタートにおいてまづおつたというのでございます。

オ二頁の動向は果て計画を主として果の教育委員会でそれとしてそれを地方教育委員会が実施に移すところというわけです。これはご承知のように法的根拠ですがそれで義務づけられておると(法的根拠であるか)ないか、それを言ひておると呼ぶ者あり、法的根拠です。それを説明するのひすか(どうです)と呼ぶ者あり、それは地方公務員法の第四十条に規定されております。

(雑音多く聴取不能)……見送ってる町村もあるのではないかというが、賛同です。若干あるようですけれどもそれは時期の問題ではなからうか。それで干葉果でもおそれ早かれ実施するけれども今き分ま、ていようとそういうつもりだと私もは考えております。がさわめて数は少ないと思ひます。それから組合員からすびにいろいろ要求がございました。その要求は私も大体線を出していなかつたと思ひます。干葉果の要求はとそうまゝなんです。この地区で独立に要求してゐる事はございせん。——たがってわれ／＼は今後は可能限りしてやりなうと思ひます。不可能なものはどうにもい

ではないのです。

。二九番（松本藤太郎君）教育長さんははじめ受入
媛和歌山でもって非常に反対—たんでこれば
起るなんでもというなにか強くなつたと、私
はそう見、聞きそこなつておりません。

県の教育委員会で出されたものを地方、
市町村教育委員会へ義務づけられてある、
要するに地方公務員法の第四十条に義務づ
けられてあるということですがもと／＼最
初出てきたもとをたどつてみればです中支部
大臣が第一措置事項でござ—たくれ自体に問
題がある。そういうことはい、かというこ
とになると下までみんない、んぞというこ
とになる。それこそ、私にそう解釈する、それこそ、でい、

ところでもいけなひので問題ととり上げられ
 れません。果てはたもうが市町村の教育
 委員今で九月十日十一日となつておるのを
 更に翌年要するに十一月でなくて十二月
 あるいは来年の一月。場合によるとその次と
 いうふうな事であらうところというふうに教育
 長さんはおっしゃいます。教育長さんはこれ
 について鎌山の場合も非常にふとなーい。
 組合も実際にあなただけのいう通りやつてお
 るんじつもう一ぺん一度決ま、た事をど
 うこうというところびなく面子などはものに
 せすもう一ぺん一つこれを更に検討してこの
 時期というものを適的確にやるんだという
 ことびなく延ばすという方向にかえる意思

があるかどうか。今一つ教員組合がいってある
ことは果の職組でいってあるのと同じかと
うーやいまいながこの内容としていろいろと
実数をつける場合にやりますが一三とえ
くさんいくつがあると思いますすがその中
あまりのどくつけてもういなくないこれが
一番がと思う（この思慮のほかにですかと呼ぶ
者あり）……（雑多多く聴取不能）…… そういう
ふうにつける場合でもあまり影響がないよ
うぞーて人事あるいは給与に關係しないよ
うにーてやることばほんとうに先生を先生
うーく子供を教育するものかと私は思う。
今こゝでもって天下りーまにするよりこ
うものさすでにそのまゝうのみにせず

とつの方によつても、ていく事が教員たち
にと、てとこういうふうに考えております。
館山市教育委員会も非常に真り、ばなご
見識の方がたご上へのうのみだけでなく
ご検討されているようですがもう一べんこ
のようによつてごめないうかどうか
の事をあつねります。以上組合の方の出
てあるというのはいま申上げましたようい
うような内容であるかどうかそのように
約束していただけるかどうかでございます。
ます。

教育長(工藤和平君)お答えいたします。

先程の法的根拠ですが地方公務員法の第四十
条をちやうと読上げます。

任命権者は職員、執務について定期的に勤務成績の評定を行い、その評定の結果に依りて措置を講じなければならぬ。

つぎのご質問の件延ばすことか出来るかどうかのご質問ですが、館山市の教育委員会で決定したものは先程甲一までように八月二十一日です。これは郡市の教育長会にのぞかれてまゝ、その当時におきまゝでいろいろ打合せ、てみまゝな館山市では非常におそろしかった。これは組合から工藤としてはやるだろうか、うお前はいつか伊勢議員の質問に對してやるという、そのでやるだろうか。これはやもうえな、いかうやるならば他に先んじてやるような事はしないであらうと、石井局長からのまつい注

文がありまゝだ。その線に沿つて私等々と
してまいりこの郡の町村が先んどどんく
やゝだ。これではならんというのでほとんどお
そまゝなべら八月二十一日にきめたようなわけ
でありまゝてこれはもう十一月一日の提出と
いうのは私の考えでは適当な時期ではないかと
思うんでありまゝて延ばす気はございません。
オミスの教員組合とのいろいろな要求、お説の通
りいろんな段階的な評定はやめてほしいと、あ
るいはそれとすい人事給与に関連づけるとい
う要求が出ておりますが要するにこれは運用
みよあひありまゝて果にあつても実施し
なべら内容を検討し勤務評定の問題はあゝろ
やるかやらないかびなくして内容にあるかと

思いますんで果では鋭意改善は努力している
のであります。従つてまだ決定しませんでお
そらく喫論の指示する線におちつくのではな
いかとさういう見通しです。

三九番(松本藤太郎君)公務員法の四十条を説明なさ
つたようですがこれはなにも今更適用さうけ
なくとも今までの通りで大体同じでと更に
さういうものを今とついでと一ているところ
に問題があるんで喫論のさうして教員のさばかり
でなくしてわれわれ階級まで知つてある。

本當に勤評を出された事を教育長さんわかる
と思うんですけど(発音不明)暇につき聴取不
能)……出来ないと、さういう意味で私はさう
いうことはもう甲上げません。文部大臣は教

育長さん読んぞと思ひますべこうい、ています。私や政府がこれをやめようとい、ても地方でも、てやるというふうに決めてあるんぞと。とめる事が出来ない。今のいきおいでは、これはあくまで命令だとい、て出、ておいた人が一番良くわかるかういうことでは今まずい。一かも教員達に對しても、一番教育委員会の、十一月とせめろがもう一度考えてほ、い、かうい、ろひです。もうこれは教育長さんに申上げません。が市長さんにお尋ね、ます。が市長さんもちろんこの事についてはもう考えておられると思ひます。が十一月実施というこ、についてひまればもう一べん面子などというものは考えずに延期の方向へ私は教育委員会の方へあ

話——を——していたのだとたい。いま一つは人事給
与のこうい、たような面に直接大きくふれる
ような段階的にやることはぜひのさけていた
きたい。これを一つ市長さんにぜひお願いし
たいと思うんですが市長さんほどのようにお
考えになつておられるか。偉い人の言う事で
到底だめだと、そういうことはないとはいま
すが。

。市長(田村利男君)市長と教育委員会とはあくまで
独立のものでありまして市長の意見を教育
委員会に申すのべるといふようなくとは努
めてなければならぬ——私も避けてある
ものでございます。それにすでに教育委員会
で決定されましたものにつままして市長の名

にふいてのばせというようなくとは命令は出
 来ないと思います。——か——ながら大西委員長
 個人に個人の田村があの問題はどうなんだ。
 議会でも問題になつたかうとというような好
 意的な意見は大西君に言えることはできる
 と思います。すが委員長にあらま——て市長の
 名にあらま——て例えば公文書をもつてあ
 れをのばせというような事は出来ないと思
 います。すが個人的な意味で大西君に松本
 さんの意見を話してあらたいと思います。
 それのう給料、勤務評定の結果すぐ来月月給
 が下がるのかというのもしやめる、そういうよう
 なことのないようにしてくれというのはわれ
 われP、T、Aの願いでございます。そういう

意味にあきまゝして市長の圧力をもつて教育
委員今に命令するんでなく雑談的にさういう
言葉も甲一しておきます。用意があるところい
うふうに。

○ニ九番(松本藤太郎君)教育長さんも一べん十一月とま
ま、そのものはすということは出来ないとい
ひ組合の希望している線は約束通りやっ
ていきたい。こう解釈してよろしいですね。
さうでございますね。組合との約束は実行
していくさういうことですな(い、えと呼ぶ
者あり)さうでござうて、まあななは和氣
合々の中で約束したと、さういうふうにな
っている場合はありませんと。

○教育長(工藤和平君)お答えいたします。

どういう意味の発言にやな、たと思ひます。
和気合々の内にいろ／＼話合つていて組合
の要求は出まゐるだけ採用するようになれ
る。——ハ—それを全部実行するとは考
えていません。できないものはどうにも
ならないと私はいい、たはずでございま
す。それ
を承知の程を。

〇二九番(松本藤太郎君) とういうことは
いゝです。とういうことは、

問題は教員がから段階をのどくつけて直
接給与人事に影響を及ぼさないようにたの
組合のたのみは、たの干渉果はあまり
赤旗をふらないですんであるわけだ。そ
れをいゝてある。

あなたは館山は干菜果つと聞かぬと。館山は
さあそれ以上にたつんであるかというところ
でない同じかと。それとその通りや、ていた
だまぬい。さ、まあななはや、ていくとあー
や、え、おかう私は腹肉を市長さんに向けた
んが。市長さんか、て命令ーろという、たれけ
てはない。市長さんのお、ーやる通りそのよ
うに二つの桌に努力をねだいた。そういう
ことであ、てび了解をいたります。

以上で腹肉を打切ります。

議長(石井潔君)それとちまーて本日の日程は
全部終りまーた。

それとちま、て肉今といえーます。

用今後ちまに漸時協議会にいえーます。

午後四時四十五分開會

昭和三十三年九月九日

鎌山市議會議長

石井 潔

會議錄署名議員

同

脇田 順一

昭和三十三年九月九日

